

大学番号 私立42

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

駿河台大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駿河台大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学務部教務課
職名・氏名	学務部長・齋藤 丈洋
電話番号	042-972-1110
（夜間）	042-972-1111
e-mail	kyoumu@surugadai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 駿河台大学

(2) 大学名

駿河台大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒357-8555

埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イヱ 勉ノブ) 入江 孝信 (H29.9.1)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(オモリ カズヒロ) 大森 一宏 (R1.4.1)		
学部長	(ヨシノ 勉ノブ) 吉野 貴順 (R2.4.1)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツ学部 スポーツ科学科 学士（スポーツ科学）	体育関係	4年	200人	年次一人	800人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200 () []		200 () []		() () []		() () []		() () []		1.20倍	-	
志願者数	816 () []	- () []	477 () []	- () []	() () []								
受験者数	782 () []	- () []	459 () []	- () []	() () []								
合格者数	265 () []	- () []	285 () []	- () []	() () []								
B 入学者数	238 () []	- () []	245 () []	- () []	() () []								
入学定員超過率 B/A	1.19		1.22										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	238 (-) [-]	- [-] (-)	245 (-) [-]	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		226 (-) [-]	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()				
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			238 [-] (-)		471 [-] (-)				[] ()		[] ()

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	238人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	471人	12人	令和2年度	12人	0人	就学意欲の低下(1人)、就職(4人)、経済的困窮(5人)、その他(2人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		12人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{238} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{471} = \boxed{2.54} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼминаールⅠ	1前	2			3	6	3			4
	プレゼминаールⅡ	1後	2			3	6	3			4
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								1
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								1
	倫理学Ⅰ	1-2前	2								1
	倫理学Ⅱ	1-2後	2			1					
	文学Ⅰ	1-2前	2								2
	文学Ⅱ	1-2後	2								2
	こころの科学Ⅰ	1-2前	2								2
	こころの科学Ⅱ	1-2後	2								1
	日本の文化と倫理	1-2前	2			1					
	国際社会と日本	1-2後	2					1			
	北欧文化論	1-2後	2								1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2	4	1			8
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2	4	1			8
	憲法概論	1-2後	2								1
	経済学Ⅰ	1-2前	2								1
	経済学Ⅱ	1-2後	2								1
	歴史学Ⅰ	1-2前	2								2
	歴史学Ⅱ	1-2後	2								1
	観光学	1-2後	2			1					
	現代自然科学Ⅰ	1-2前	2								1
	現代自然科学Ⅱ	1-2後	2								1
	環境生物学Ⅰ	1-2前	2								1
	環境生物学Ⅱ	1-2後	2								1
	生命の科学Ⅰ	1-2前	2								1
	生命の科学Ⅱ	1-2後	2								1
	からだの科学Ⅰ	1-2前	2								1
	からだの科学Ⅱ	1-2後	2								1
小計(30科目)	-	10	46	0	6	7	4	0	0	24	
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼминаールⅢ	2前	2			4	5	2			4
	プレゼминаールⅣ	2後	2			4	5	2			4
	日本の暮らしと文化	2-3前	2			1					
	欧米の暮らしと文化	2-3後	2					1			
	異文化と文学	2-3前	2								1
	日本伝統文化論	2-3後	2			1					
	コミュニケーション論	2-3後	2								1
	インターネット文化論	2-3前	2								1
	子ども文化論	2-3前-後	2								1
	現代人と心理Ⅰ	2-3前	2								1
	現代人と心理Ⅱ	2-3後	2								1
	現代社会と法	2-3前	2								1
	ライフサイケルと社会保障	2-3後	2								1
	労働と社会	2-3後	2								1
	ジェンダー論	2-3後	2			1					1
	ホスピタリティ論	2-3後	2								1
	現代社会とメディア	2-3後	2								1
	労働衛生Ⅰ	2前	2				1				
	労働衛生Ⅱ	2-3後	2				1				1
	労働基準法	2-3前	2								1
	労働安全衛生法Ⅰ	2-3前	2								1
	労働安全衛生法Ⅱ	2-3後	2								1
小計(22科目)	-	4	40	0	5	5	2	0	0	16	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼминаールⅠ	1前	2			3	6	4			3
	プレゼминаールⅡ	1後	2			3	6	4			3
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								4
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								4
	倫理学Ⅰ	1-2前	2								1
	倫理学Ⅱ	1-2後	2			1					
	文学Ⅰ	1-2前	2								3
	文学Ⅱ	1-2後	2								3
	こころの科学Ⅰ	1-2前	2								2
	こころの科学Ⅱ	1-2後	2								2
	日本の文化と倫理	1-2前	2			1					
	国際社会と日本	1-2後	2					1			
	北欧文化論	1-2後	2								1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			1		1			3
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			1		1			3
	憲法概論	1-2後	2								2
	経済学Ⅰ	1-2後	2								1
	経済学Ⅱ	1-2後	2								1
	歴史学Ⅰ	1-2前	2								2
	歴史学Ⅱ	1-2後	2								2
	観光学	1-2後	2			1					
	現代自然科学Ⅰ	1-2前	2								1
	現代自然科学Ⅱ	1-2後	2								1
	環境生物学Ⅰ	1-2前	2								1
	環境生物学Ⅱ	1-2後	2								1
	生命の科学Ⅰ	1-2前	2								1
	生命の科学Ⅱ	1-2後	2								1
	からだの科学Ⅰ	1-2前	2								1
	からだの科学Ⅱ	1-2後	2								1
小計(30科目)	-	10	46	0	5	6	5	0	0	27	
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼминаールⅢ	2前	2			2	6	1			4
	プレゼминаールⅣ	2後	2			2	6	2			3
	日本の暮らしと文化	2-3前	2			1					
	欧米の暮らしと文化	2-3後	2					1			
	異文化と文学	2-3前	2								1
	日本伝統文化論	2-3後	2			1					
	コミュニケーション論	2-3後	2								1
	インターネット文化論	2-3前	2								1
	子ども文化論	2-3後	2								1
	現代人と心理Ⅰ	2-3前	2								1
	現代人と心理Ⅱ	2-3後	2								1
	現代社会と法	2-3前	2								1
	ライフサイケルと社会保障	2-3後	2								1
	労働と社会(未開講)	2-3後	2								1
	ジェンダー論	2-3後	2			1					1
	ホスピタリティ論	2-3前	2								1
	現代社会とメディア	2-3前	2								1
	人工知能概論	2-3後	2								1
	労働衛生Ⅰ	2前	2				1				
	労働衛生Ⅱ	2-3後	2				1				1
	労働基準法	2-3後	2								1
	労働安全衛生法Ⅰ	2-3前	2								1
労働安全衛生法Ⅱ	2-3後	2								1	
小計(23科目)	-	4	42	0	3	6	2	0	0	17	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1-2後	2			1					1
	フィールドトリップ	1-2後	2			1	1				1
	地域と文学	1-2後	2								1
	飯能学	1-2後	2			1					
	地域社会と観光	1-2前	2			1					
	地域環境論	1-2前	2								1
	森林文化 I	1-2前	2			1					1
	森林文化 II	1-2後	2			1					1
	地域と歴史	1-2後	2								1
	インターンシップ I	2-3通	4								3
インターンシップ II	1-2前・後	2								3	
まちづくり実践	1-2前・後	2			2					1	
小計(12科目)	-	0	26	0	4	1	0	0	0	0	9
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語 I A	1前	1								7
	英語 I B	1後	1								7
	英語 II A	1前	1				1				3
	英語 II B	1後	1				1				3
	日本語 I A	1前	1								1
	日本語 I B	1後	1								1
	日本語 II A	1前	1								1
	日本語 II B	1後	1								1
	ドイツ語 I A	1前	1			1					1
	ドイツ語 I B	1後	1			1					1
	ドイツ語 II A	1前	1								2
	ドイツ語 II B	1後	1								2
	フランス語 I A	1前	1								1
	フランス語 I B	1後	1								1
	フランス語 II A	1前	1								1
	フランス語 II B	1後	1								1
	中国語 I A	1前	1								2
中国語 I B	1後	1								2	
中国語 II A	1前	1								2	
中国語 II B	1後	1								2	
韓国語 I A	1前	1								2	
韓国語 I B	1後	1								2	
韓国語 II A	1前	1								2	
韓国語 II B	1後	1								2	
小計(24科目)	-	0	24	0	0	1	1	0	0	0	21
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語 III A	2前	1								4
	英語 III B	2後	1								4
	日本語 III A	2前	1								1
	日本語 III B	2後	1								1
	ドイツ語 III A	2前	1								1
	ドイツ語 III B	2後	1								1
	フランス語 III A	2前	1								1
	フランス語 III B	2後	1								1
	中国語 III A	2前	1								1
	中国語 III B	2後	1								1
	韓国語 III A	2前	1								1
	韓国語 III B	2後	1								1
小計(12科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	9
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習 I	1-2-3前	2				1				1
	英語演習 II	1-2-3後	2								2
	ドイツ語演習 I	2-3前	2				1				1
	ドイツ語演習 II	2-3後	2				1				1
	フランス語演習 I	2-3前	2								1
	フランス語演習 II	2-3後	2								1
	中国語演習 I	2-3前	2								2
	中国語演習 II	2-3後	2								2
	韓国語演習 I	2-3前	2								1
	韓国語演習 II	2-3後	2								1
	日本語演習 I	2-3前	2								1
	日本語演習 II	2-3後	2								1
	海外語学演習	2-3通	4			1	1				5
小計(13科目)	-	0	28	0	0	1	1	0	0	0	9
外国語科目計(49科目)	-	0	64	0	0	1	1	0	0	0	24

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1-2後	2			1					1
	フィールドトリップ	1-2後	2			1	1				1
	地域と文学	1-2後	2								1
	飯能学	1-2後	2			1					
	地域社会と観光	1-2前	2			1					
	地域環境論	1-2前	2								1
	森林文化 I	1-2前	2			1					3
	森林文化 II	1-2後	2			1					3
	地域社会と経済	1-2前	2								3
	地域社会と環境	1-2後	2								1
地域と金融	1-2後	2								1	
地域企業論(未開講)	1-2後	2									
地域と社会(未開講)	1-2前	2									
地域と歴史	1-2前	2								1	
インターンシップ I	2-3通	4								6	
インターンシップ II	1-2前・後	2								6	
まちづくり実践	1-2前・後	2			2					4	
小計(17科目)	-	0	36	0	3	1	0	0	0	0	26
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語 I A	1前	1								8
	英語 I B	1後	1								8
	英語 II A	1前	1								7
	英語 II B	1後	1					1			6
	日本語 I A	1前	1								2
	日本語 I B	1後	1								2
	日本語 II A	1前	1								2
	日本語 II B	1後	1								2
	ドイツ語 I A	1前	1			1					1
	ドイツ語 I B	1後	1			1					1
	ドイツ語 II A	1前	1								1
	ドイツ語 II B	1後	1								1
	フランス語 I A	1前	1								1
	フランス語 I B	1後	1								1
	フランス語 II A	1前	1								1
	フランス語 II B	1後	1								1
	中国語 I A	1前	1								3
中国語 I B	1後	1								3	
中国語 II A	1前	1								3	
中国語 II B	1後	1								3	
韓国語 I A	1前	1								3	
韓国語 I B	1後	1								3	
韓国語 II A	1前	1								2	
韓国語 II B	1後	1								2	
小計(24科目)	-	0	24	0	0	1	1	0	0	0	31
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語 III A	2前	1								8
	英語 III B	2後	1								8
	日本語 III A	2前	1								3
	日本語 III B	2後	1								3
	ドイツ語 III A	2前	1								1
	ドイツ語 III B	2後	1								1
	フランス語 III A	2前	1								1
	フランス語 III B	2後	1								1
	中国語 III A	2前	1								1
	中国語 III B	2後	1								1
	韓国語 III A	2前	1								2
	韓国語 III B	2後	1								2
小計(12科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	17
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習 I	1-2-3前	2								4
	英語演習 II	1-2-3後	2								3
	ドイツ語演習 I	2-3前	2								1
	ドイツ語演習 II	2-3後	2								1
	フランス語演習 I	2-3前	2								1
	フランス語演習 II	2-3後	2								1
	中国語演習 I	2-3前	2								2
	中国語演習 II	2-3後	2								2
	韓国語演習 I	2-3前	2								1
	韓国語演習 II	2-3後	2								1
	日本語演習 I	2-3前	2								2
	日本語演習 II	2-3後	2								2
	海外語学演習	2-3通	4								1
小計(13科目)	-	0	28	0	0	0	0	0	0	0	11
外国語科目計(49科目)	-	0	64	0	0	1	1	0	0	0	47

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								2
	キャリア基礎Ⅱ	1後	2								2
	キャリア発展	2前・後	2								2
	ライフプランニング	2前・後	2								1
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2
	キャリア実践論Ⅱ	3後	2								1
	キャリア実践論Ⅲ	3後	2								1
小計(7科目)	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0	2
共通教養科目群計(120科目)			18	186	0	9	7	4	0	0	58
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2				
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2				
	救急処置法	1前・後	2			1	1				1
	トレーニングサイエンス	1後	2			1					
	ヘルスサイエンス	1後	2				1				
	スポーツ文化論	1後	2				1				
	チームビルディング	1前	1			1					1
小計(7科目)	-	13	0	0	4	5	0	0	0	0	2
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1				
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1				
	スポーツ哲学	2前	2			1					
	スポーツ社会学	2前	2				1				
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1				
	スポーツ教育学	2後	2				1				
	スポーツ史	2後	2				1				
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1					
小計(8科目)	-	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1			
	専門実技(体づくり運動)	1後		1				1			
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1
	専門実技(陸上競技)	2後					1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1				
	専門実技(ダンス)	3前・後		1			1				
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1			1				
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1				
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1			1				
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1			1				
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1			1				
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1			1				
専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1	
専門実技(バドルスポーツ)	2・3前		1							1	
専門実技(自然活動C)	2・3後		1							2	
専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1			1					
小計(23科目)	-	0	23	0	4	2	2	0	0	0	11
専攻基幹科目群計(31科目)			16	23	0	5	5	2	0	0	11
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1				
	スポーツ心理学	2後		2				1			
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1					
	運動学	2後		2							1
	スポーツ生理学	2・3前		2		1					
	健康と文化	2・3前		2							1
	スポーツ政策論	2・3前		2		1					
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1					
	スポーツ人類学	2・3後		2			1				
	スポーツ栄養学	3前		2				1			1
	解剖生理学	3前		2							1
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1				
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1					
運動処方論	3前		2			1					
衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1
	キャリア基礎Ⅱ	1後	2								2
	キャリア発展	2前・後	2								2
	ライフプランニング	2前・後	2								1
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2
	キャリア実践論Ⅱ	3後	2								1
	キャリア実践論Ⅲ	3後	2								1
小計(7科目)	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0	2
共通教養科目群計(126科目)			18	198	0	7	7	5	0	0	105
専攻科目群・専攻基幹科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2				
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2				
	救急処置法	1後	2			1	1				1
	トレーニングサイエンス	1後	2			1					
	ヘルスサイエンス	1後	2				1				
	スポーツ文化論	1後	2				1				
	チームビルディング	1前	1			1					1
	小計(7科目)	-	13	0	0	4	5	0	0	0	0
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1				
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1				
	スポーツ哲学	2前	2			1					
	スポーツ社会学	2前	2				1				
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1				
	スポーツ教育学	2後	2				1				
	スポーツ史	2後	2				1				
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1					
小計(8科目)	-	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1					1		
	専門実技(体づくり運動)	1前		1					1		
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1
	専門実技(陸上競技)	2後					1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1				
	専門実技(ダンス)	3前・後		1			1				
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1			1				
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1				
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1			1				
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1			1				
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1			1				
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1			1				
専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1	
専門実技(バドルスポーツ)	2・3後		1							1	
専門実技(自然活動C)	2・3後		1							1	
専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1								
小計(23科目)	-	0	23	0	3	2	2	0	0	0	9
専攻基幹科目群計(31科目)			16	23	0	4	5	2	0	0	9
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1				
	スポーツ心理学	2後		2				1			
	健康とスポーツの医学A	2前・後		2		1					
	運動学	2前		2							1
	スポーツ生理学	2・3前		2		1					
	健康と文化	2・3前		2							1
	スポーツ政策論	2・3前		2		1					
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1					
	スポーツ人類学	2・3前		2			1				
	スポーツ栄養学	2・3前		2				1			
	解剖生理学	3前		2							1
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1				
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1					
運動処方論	3前		2			1					
衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
												授	授
専攻科目群・専攻発展科目	生涯学習論	3前	2			1							2
	教育と文化	3前	2			1							
	スポーツ心理学実習	3・4前	1					1					
	アスレティックトレーナー論	3・4前	2			1							
	身体文化論	3・4前	2			1							
	異文化とスポーツ	3・4前	2			1							
	スポーツと法	3・4前	2										1
	文化資源とスポーツ	3・4前	2			1							
	レクリエーション論	3・4前	2			1							
	アダプテッドスポーツ論	3・4前	2										1
	加齢とスポーツ	3・4後	2			1							
	健康運動プログラムの作成	3・4後	2			1							
	スポーツインストラクター指導論	3・4後	2										1
	メンタルトレーニング論	3・4後	2										1
	コンディショニング論	3・4後	2			1							
	スポーツコーチング論	3・4後	2			3	1	2					
	スポーツ指導者論	3・4後	2										1
	健康・体づくり指導法	3・4後	2										1
	発育・発達とスポーツ	3・4後	2			1							
	学校保健	3・4後	2			1							
	教育と法	3・4後	2			1							
	エコツーリズム論	3・4後	2			1							
スポーツ・ツーリズム論	3・4後	2			1								
スポーツと政治	3・4後	2			1								
国際交流とスポーツ	3・4後	2										1	
海外スポーツ文化研修	2・3後	2			1								
スポーツ健康実習	3後	1			1	1	1						
スポーツ教育実習	3後	1					3						
地域スポーツ実習	3後	1			3								
小計(44科目)	-	0	83	0	10	8	2	0	0	0	0	13	
専攻科目群計(82科目)	-	29	106	0	10	9	3	0	0	0	0	22	
演習科目群	ゼミナールⅠ	2			10	9	3						
	ゼミナールⅡ	2			10	9	3						
	ゼミナールⅢ	2			10	9	3						
	ゼミナールⅣ	2			10	9	3						
	小計(4科目)	-	8	0	0	10	9	3	0	0	0	0	
合計(206科目)	-	55	292	0	11	9	4	0	0	0	0	75	
教職課程科目	教育学概論	1前			2	1	1						1
	教職論	1・2・3前			2								3
	教育制度論	1後			2	1	1						1
	教育心理学	1後			2								2
	特別支援教育Ⅰ	2後			1								2
	特別支援教育Ⅱ	2後			1								4
	道德教育の理論と方法	2前・後			2	1							1
	総合的な学習の時間の指導	2前			2								2
	特別活動の指導	2後			2		1						1
	教育の方法と技術	3後			2								1
	生徒指導	2前			2		1						1
	教育相談	2前			2								2
	進路指導	2前			2								1
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後~4前			3	1	2						
	教育実習Ⅱ	3後~4前			2	1	2						
	学校体験活動	3前・後			2	1	2						
	教職実践演習	4後			2	1	2						
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1							1
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1						
	保健体育科教育法Ⅲ	3後			2		1						
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1						
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1	1						
教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1	1							
小計(23科目)	-	0	0	45	2	2	0	0	0	0	0	14	
合計(229科目)	-	55	292	45	11	9	4	0	0	0	0	89	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
												授	授
専攻科目群・専攻発展科目	生涯学習論	3前	2			1							2
	教育と文化	3前	2							1			
	スポーツ心理学実習	3・4前	1							1			
	アスレティックトレーナー論	3・4前	2			1							
	身体文化論	3・4前	2			1							
	異文化とスポーツ	3・4前	2							1			
	スポーツと法	3・4前	2										1
	文化資源とスポーツ	3・4前	2			1							
	レクリエーション論	3・4前	2			1							
	アダプテッドスポーツ論	3・4前	2										1
	加齢とスポーツ	3・4後	2							1			
	健康運動プログラムの作成	3・4後	2							1			
	スポーツインストラクター指導論	3・4後	2										1
	メンタルトレーニング論	3・4後	2										1
	コンディショニング論	3・4後	2			1							
	スポーツコーチング論	3・4後	2			3	1	2					
	スポーツ指導者論	3・4後	2										1
	健康・体づくり指導法	3・4後	2										1
	発育・発達とスポーツ	3・4後	2							1			
	学校保健	3・4後	2							1			
	教育と法	3・4後	2			1							
	エコツーリズム論	3・4後	2			1							
スポーツ・ツーリズム論	3・4後	2			1								
スポーツと政治	3・4後	2			1								
国際交流とスポーツ	3・4後	2										1	
海外スポーツ文化研修	2・3後	2			1								
スポーツ健康実習	3後	1			1	1	1	1					
スポーツ教育実習	3後	1						2	1				
地域スポーツ実習	3後	1			3								
小計(44科目)	-	0	83	0	10	8	7	3	0	0	0	12	
専攻科目群計(82科目)	-	29	106	0	10	8	4	4	0	0	0	20	
演習科目群	ゼミナールⅠ	2			10	8	4	4					
	ゼミナールⅡ	2			10	8	4	4					
	ゼミナールⅢ	2			10	8	4	4					
	ゼミナールⅣ	2			10	8	4	4					
	小計(4科目)	-	8	0	0	10	8	4	4	0	0	0	
合計(212科目)	-	55	304	0	11	8	5	5	0	0	0	124	
教職課程科目	教育学概論	1前			2	1				1			
	教職論	1・2・3前			2								3
	教育制度論	1後			2	1				1			
	教育心理学	1前・後			2								1
	特別支援教育Ⅰ	2後			1								1
	特別支援教育Ⅱ	2後			1								3
	道德教育の理論と方法	2前・後			2	1							1
	総合的な学習の時間の指導	2前・後			2								2
	特別活動の指導	2前・後			2		1						1
	教育の方法と技術	3後			2					1			1
	生徒指導	2前・後			2		1						1
	教育相談	2前			2								2
	進路指導	2前			2								1
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後~4前			3	1	1	1					
	教育実習Ⅱ	3後~4前			2	1	1	1					
	学校体験活動	3前・後			2	1	1	1	1				
	教職実践演習	4後			2	1	1	1					
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1							1
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1						
	保健体育科教育法Ⅲ	3後			2		1						
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1						
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1				1			
教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1				1				
小計(23科目)	-	0	0	45	2	1	1	1	0	0	0	15	
合計(235科目)	-	55	304	45	11	8	5	5	0	0	0	139	

卒業要件及び履修方法

<卒業要件単位> 124単位

○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上
 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上
 ○地域科目…4単位以上
 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上
 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修)
 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修
 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる
 ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上
 ○専攻導入科目…13単位必修
 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(パドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上
 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上
 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上
 ○演習科目…8単位必修
 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として
 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。
 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。
 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ)
 <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

卒業要件及び履修方法

<卒業要件単位> 124単位

○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上
 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上
 ○地域科目…4単位以上
 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上
 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修)
 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修
 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる
 ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上
 ○専攻導入科目…13単位必修
 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(パドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上
 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上
 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上
 ○演習科目…8単位必修
 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として
 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。
 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。
 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ)
 <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1				1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	4	4				4
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	4	4				4
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1									4
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1									4
	倫理学Ⅰ	1・2前	2									1
	倫理学Ⅱ	1・2後	2			1						
	文学Ⅰ	1・2前	2									3
	文学Ⅱ	1・2後	2									3
	こころの科学Ⅰ	1・2前	2									2
	こころの科学Ⅱ	1・2後	2									2
	日本の文化と倫理	1・2前	2			1						
	国際社会と日本	1・2後	2					1				
	北欧文化論	1・2後	2									1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			1		1				4
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			1		1				4
	憲法概論	1・2後	2									2
	経済学Ⅰ	1・2後	2									1
	経済学Ⅱ	1・2前	2									1
	歴史学Ⅰ	1・2前	2									3
	歴史学Ⅱ	1・2後	2									2
	観光学	1・2後	2			1						
	現代自然科学Ⅰ	1・2前	2									1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後	2									1
	環境生物学Ⅰ	1・2前	2									1
	環境生物学Ⅱ	1・2後	2									1
	生命の科学Ⅰ(未開講)	1・2前	2									
	生命の科学Ⅱ(未開講)	1・2後	2									
	からだの科学Ⅰ	1・2前	2									1
	からだの科学Ⅱ	1・2後	2									1
小計(30科目)	-	10	46	0	5	4	5	0	0		29	
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			4	5	2				4
	プレゼミナールⅣ	2後	2			4	5	2				4
	日本の暮らしと文化	2・3前	2			1						
	欧米の暮らしと文化	2・3後	2					1				
	異文化と文学	2・3前	2									1
	日本伝統文化論	2・3後	2			1						
	コミュニケーション論	2・3後	2									1
	インターネット文化論	2・3前	2									1
	子ども文化論	2・3前・後	2									1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前	2									1
	現代人と心理Ⅱ	2・3後	2									1
	現代社会と法	2・3前	2									1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後	2									1
	労働と社会	2・3後	2									1
	ジェンダー論	2・3後	2			1						1
	ホスピタリティ論	2・3後	2									1
	現代社会とメディア	2・3後	2									1
人工知能概論	2・3後	2									1	
労働衛生Ⅰ	2前	2					1					
労働衛生Ⅱ	2・3後	2					1					
労働基準法	2・3前	2									1	
労働安全衛生法Ⅰ	2・3前	2									1	
労働安全衛生法Ⅱ	2・3後	2									1	
小計(23科目)	-	4	42	0	5	5	2	0	0		17	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1-2後		2		1						1
	フィールドトリップ	1-2後		2		1	1					1
	地域と文学	1-2後		2								1
	飯能学	1-2前		2		1						
	地域社会と観光	1-2前		2		1						
	地域環境論(未開講)	1-2前		2								
	森林文化Ⅰ	1-2前		2		1						3
	森林文化Ⅱ	1-2後		2								3
	地域と歴史	1-2後		2								1
	インターンシップⅠ	2-3通		4								3
	インターンシップⅡ	1-2前・後		2								8
まちづくり実践	1-2前・後		2		2						4	
小計(12科目)	-	0	26	0	4	1	0	0	0	0	18	
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語ⅠA	1前		1								8
	英語ⅠB	1後		1								8
	英語ⅡA	1前		1				1				5
	英語ⅡB	1後		1				1				5
	日本語ⅠA	1前		1								2
	日本語ⅠB	1後		1								2
	日本語ⅡA	1前		1								2
	日本語ⅡB	1後		1								2
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1					
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1					
	ドイツ語ⅡA	1前		1								1
	ドイツ語ⅡB	1後		1								1
	フランス語ⅠA	1前		1								1
	フランス語ⅠB	1後		1								1
	フランス語ⅡA	1前		1								1
	フランス語ⅡB	1後		1								1
	中国語ⅠA	1前		1								3
	中国語ⅠB	1後		1								3
	中国語ⅡA	1前		1								3
	中国語ⅡB	1後		1								3
	韓国語ⅠA	1前		1								2
	韓国語ⅠB	1後		1								2
	韓国語ⅡA	1前		1								2
	韓国語ⅡB	1後		1								2
小計(24科目)	-	0	24	0	0	1	1	0	0	0	27	
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語ⅢA	2前		1								4
	英語ⅢB	2後		1								4
	日本語ⅢA	2前		1								1
	日本語ⅢB	2後		1								1
	ドイツ語ⅢA	2前		1								1
	ドイツ語ⅢB	2後		1								1
	フランス語ⅢA	2前		1								1
	フランス語ⅢB	2後		1								1
	中国語ⅢA	2前		1								1
	中国語ⅢB	2後		1								1
	韓国語ⅢA	2前		1								1
	韓国語ⅢB	2後		1								1
小計(12科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	9	
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習Ⅰ	1-2-3前		2				1				4
	英語演習Ⅱ	1-2-3後		2								4
	ドイツ語演習Ⅰ	2-3前		2			1					1
	ドイツ語演習Ⅱ	2-3後		2			1					1
	フランス語演習Ⅰ	2-3前		2								1
	フランス語演習Ⅱ	2-3後		2								1
	中国語演習Ⅰ	2-3前		2								1
	中国語演習Ⅱ	2-3後		2								2
	韓国語演習Ⅰ	2-3前		2								1
	韓国語演習Ⅱ	2-3後		2								1
	日本語演習Ⅰ	2-3前		2								1
	日本語演習Ⅱ	2-3後		2								1
	海外語学演習	2-3通		4			1	1				5
小計(13科目)	-	0	28	0	0	1	1	0	0	0	11	
外国語科目計(49科目)	-	0	64	0	0	1	1	0	0	0	34	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1
	キャリア基礎Ⅱ	1後	2								2
	キャリア発展	2前・後	2								2
	ライフプランニング	2前・後	2								1
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2
	キャリア実践論Ⅱ	3後	2								1
	キャリア実践論Ⅲ	3後	2								1
小計(7科目)	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0	2
共通教養科目群計(121科目)			18	188	0	8	6	5	0	0	86
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2				
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2				
	救急処置法	1後	2			1	1				1
	トレーニングサイエンス	1後	2			1					
	ヘルスサイエンス	1後	2				1				
	スポーツ文化論	1後	2				1				
	チームビルディング	1前	1			1					1
小計(7科目)	-	13	0	0	4	5	0	0	0	2	
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1				
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1				
	スポーツ哲学	2前	2			1					
	スポーツ社会学	2前	2				1				
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1				
	スポーツ教育学	2後	2				1				
	スポーツ史	2後	2				1				
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1					
小計(8科目)	-	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1			
	専門実技(体づくり運動)	1前		1				1			
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1
	専門実技(陸上競技)	2後		1			1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1				
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1					
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1					
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1				
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1		1					
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1					
専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1						
専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1						
専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1	
専門実技(ノドルスポーツ)	2・3前		1							1	
専門実技(自然活動C)	2・3後		1							2	
専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1		1						
小計(23科目)	-	0	23	0	4	2	2	0	0	11	
専攻基幹科目群計(31科目)			16	23	0	5	5	2	0	0	11
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1				
	スポーツ心理学	2後		2				1			
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1					
	運動学	2後		2							1
	スポーツ生理学	2・3前		2		1					
	健康と文化	2・3前		2							1
	スポーツ政策論	2・3前		2		1					
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1					
	スポーツ人類学	2・3後		2			1				
	スポーツ栄養学	3前		2							1
	解剖生理学	3前		2							1
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1				
健康とスポーツの医学B	3前		2		1						
運動処方論	3前		2				1				
衛生学・公衆衛生学	3前		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目群・専攻発展科目	生涯学習論	3前		2		1						2
	教育と文化	3前		2				1				
	スポーツ心理学実習	3・4前		1					1			
	アスレティックトレーナー論	3・4前		2		1						
	身体文化論	3・4前		2		1						
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1					
	スポーツと法	3・4前		2								1
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1						
	レクリエーション論	3・4前		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2								1
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1					
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1					
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2								1
	メンタルトレーニング論	3・4後		2								1
	コンディショニング論	3・4後		2		1						
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	1	2				
	スポーツ指導者論	3・4後		2								1
	健康・体づくり指導法	3・4後		2								1
	発育・発達とスポーツ	3・4後		2			1					
	学校保健	3・4後		2			1					
	教育と法	3・4後		2		1						
	エコツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツと政治	3・4後		2		1						
	国際交流とスポーツ	3・4後		2								1
	海外スポーツ文化研修	2・3後		2		1						
スポーツ健康実習	3後		1		1	1	1					
スポーツ教育実習	3後		1			2	1					
地域スポーツ実習	3後		1		3							
小計(44科目)	-	0	83	0	10	7	3	0	0	0	13	
専攻科目群計(82科目)	-	29	106	0	10	8	4	0	0	0	22	
演習科目群	ゼミナールⅠ		2			8	4					
	ゼミナールⅡ		2			8	4					
	ゼミナールⅢ		2			8	4					
	ゼミナールⅣ		2			8	4					
	小計(4科目)	-	8	0	0	10	8	4	0	0	0	
合計(207科目)	-	55	294	0	11	8	5	0	0	0	106	
教職課程科目	教育学概論	1前			2	1		1				
	教職論	1・2・3前			2							3
	教育制度論	1後			2	1			1			
	教育心理学	1後			2							2
	特別支援教育Ⅰ	2後			1							2
	特別支援教育Ⅱ	2後			1							4
	道德教育の理論と方法	2前・後			2	1						1
	総合的な学習の時間の指導	2前			2							2
	特別活動の指導	2後			2		1					1
	教育の方法と技術	3後			2							1
	生徒指導	2前			2		1					1
	教育相談	2前			2							2
	進路指導	2前			2							1
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前			3	1	1	1				
	教育実習Ⅱ	3後～4前			2	1	1	1				
	学校体験活動	3前・後			2	1	1	1				
	教職実践演習	4後			2	1	1	1				
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1						1
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3後			2		1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1					
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1		1				
	教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1		1				
小計(23科目)	-	0	0	45	2	1	1	0	0	0	15	
合計(230科目)	-	55	294	45	11	8	5	0	0	0	120	

卒業要件及び履修方法

<卒業要件単位> 124単位

○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上
 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上
 ○地域科目…4単位以上
 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上
 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修)
 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修
 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる
 ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上
 ○専攻導入科目…13単位必修
 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(パドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上
 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上

 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上
 ○演習科目…8単位必修

 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として
 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。
 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。

 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。
 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。
 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ)
 <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・プレゼミナールⅠ及びプレゼミナールⅡ：令和3年度就任予定の准教授1名を除く15コマで開設するとともに、准教授1名について昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。専任教員等の配置を准教授6・講師3から准教授4・講師4に変更。
- ・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：担当教員の負担軽減のため、兼任講師1名、兼任講師2名を追加。「兼1」から「兼4」に変更。
- ・文学Ⅰ及び文学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任講師1名を追加し、各1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・こころの科学Ⅰ：担当教員の負担減のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更。
- ・こころの科学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各6コマ開講。「教授1」「講師1」「兼4」に変更。
- ・憲法概論：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し、1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・経済学Ⅰ：教育効果を考慮し開講期を後期に変更。
- ・経済学Ⅱ：担当教員の学部長就任に伴い、兼任教員に変更するとともに開講期を前期に変更。
- ・歴史学Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・歴史学Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・生命の科学Ⅰ及び生命の科学Ⅱ：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・人工知能概論：教育課程の充実のため、兼任教員1名による科目を新設。
- ・労働基準法及び労働安全衛生法Ⅰ並びに労働安全衛生法Ⅱ：担当教員の他大学出講に伴う就任辞退により別の兼任教員に変更。
- ・飯能学：担当教員の在外研究に伴い、開講期を前期に変更。
- ・地域環境論：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・森林文化Ⅰ：教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「教授1」「兼3」に変更。
- ・森林文化Ⅱ：年次計画及び教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「兼3」に変更。
- ・インターシップⅡ：担当教員の負担軽減及び教育内容の充実のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更するとともに兼任教員5名を追加。「兼3」から「兼8」に変更。
- ・まちづくり実践：教育内容の充実のため、兼任教員3名を追加。「教授2」「兼1」から「教授2」「兼4」に変更。
- ・英語ⅠA及び英語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員4名及び兼任教員1名について、別の兼任教員5名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼7」から「兼8」に変更。
- ・英語ⅡA及び英語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名及び兼任教員1名について、別の兼任教員1名・兼任教員2名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「講師1」「兼3」から「講師1」「兼5」に変更。
- ・日本語ⅠA及び日本語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名を兼任教員1名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・日本語ⅡA及び日本語ⅡB：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼1」を削除。
- ・ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・フランス語ⅠA及びフランス語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員を兼任教員に変更。
- ・中国語ⅠA及び中国語ⅠB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・中国語ⅡA及び中国語ⅡB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・韓国語ⅡA及び韓国語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員2名を別の兼任教員に変更。
- ・英語演習Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任教員3名を追加し3コマ増。「講師1」「兼1」を「講師1」「兼4」に変更。
- ・英語演習Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼2」を「兼4」に変更。
- ・キャリア基礎Ⅰ：教育内容の均質化のため兼任教員1名を削除。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・救急処置法：教育効果を高めるため、開講期を後期のみに変更。
- ・専門実技（からだづくり運動）：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。
- ・教育と文化、スポーツ教育実習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、教育学概論、教育制度論、教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）、教育実習Ⅱ、学校体験活動、教職実践演習、教育学演習Ⅰ、教育学演習Ⅱ：准教授1名について、昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。
- ・教職論：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼1」を「兼3」に変更。

【令和3年度】

- ・プレゼミナールⅠ及びプレゼミナールⅡ：兼担教員1名の兼任教員への変更に伴い准教授1名に変更。令和3年2月AC教員審査済。「教授3」「准教授6」「講師4」「兼3」に変更。
- ・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。
- ・倫理学Ⅰ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。
- ・国際社会と日本、プレゼミナールⅢ、プレゼミナールⅣ、欧米の暮らしと文化、英語ⅡA、英語ⅡB、英語演習Ⅰ、海外語学演習：講師1名の兼任講師への変更に伴い兼担教員1名に変更。国際社会と日本、プレゼミナールⅣ、欧米の暮らしと文化、英語ⅡB、海外語学演習について、後期より講師1名に変更。令和3年5月AC教員審査済。(4)
- ・北欧文化論：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。
- ・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各6コマ開講。「教授1」は受講希望者が最小催行人数に達しなかったため未開講。「教授1」「講師1」「兼3」に変更。
- ・経済学Ⅱ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに開講期を後期に変更。
- ・歴史学Ⅰ：退職のため「兼3」から「兼2」に変更。
- ・歴史学Ⅱ：退職のため兼任講師1名を兼担教員1名に変更。
- ・生命の科学Ⅰ及び生命の科学Ⅱ：計画通り開講。
- ・プレゼミナールⅢ及びプレゼミナールⅣ：年次計画に基づき各13コマ開講。前記講師1名から兼担教員1名への変更に加え、兼担教員1名の兼任教員への変更に伴い准教授1名に変更。令和3年2月AC教員審査済。「教授2」「教授6」「講師1」「兼4」に変更。
- ・子ども文化論：担当教員の時間割調整のため後期2コマ開講に変更。
- ・現代人と心理Ⅱ、ホスピタリティ論、現代社会とメディア、労働基準法：担当教員の時間割調整のため開講期を変更。
- ・現代社会と法：退職のため別の兼担教員に変更するとともに開講期を後期に変更。
- ・労働と社会：担当教員の副学長就任に伴い未開講。
- ・ジェンダー論：担当教員の時間割編成のため教授1名の開講期を前期に変更。
- ・労働安全衛生法Ⅰ及び労働安全衛生法Ⅱ：担当教員の負担軽減のため別の兼任講師に変更。
- ・飯能学：担当教員の在外研究終了に伴い、計画通り開設。
- ・地域環境論：計画通り開設。
- ・森林文化Ⅰ：年次計画のため、「教授1」「兼3」から「兼3」に変更。
- ・森林文化Ⅱ：年次計画のため、「教授1」「兼3」に変更。
- ・地域社会と経済及び地域社会と環境並びに地域と金融：教育課程の充実のため科目を追加。
- ・地域企業論及び地域と社会：教育課程の充実のため科目を追加。令和4年度開講予定。
- ・地域と歴史：担当教員の国内研究のため、開講期を前期に変更。
- ・インターンシップⅠ：兼担教員1名の負担減のため別の兼担教員1名に変更するとともに、教育課程の充実のため兼担教員2名及び兼任講師1名を追加。「兼3」から「兼6」に変更。
- ・インターンシップⅡ：副学長の交代に伴い兼担教員1名、定年退職3名に伴い兼担教員1名を別の兼担教員に変更。新型コロナウイルス感染症の影響によるプロジェクト未開講のため兼担教員2名未補充。「兼8」から「兼6」に変更。
- ・まちづくり実践：担当教員の負担減のため兼担教員2名、兼任講師への変更に伴い兼担教員1名を別の兼担教員に変更。新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント未開講のため教授1名未開講。「教授1」「兼4」に変更。(4)
- ・英語ⅠA及び英語ⅠB：全学部共通再履修クラス開設のため2クラス増(計10クラス)。兼担教員1名及び兼任講師4名の退職並びに兼担教員1名の所属変更に伴い、兼担教員3名及び兼任講師2名に変更。
- ・英語ⅡA及び英語ⅡB：全学部共通再履修クラス開設のため2クラス増(計10クラス)。前記講師1名から兼担教員1名への変更に加え時間割編成のため、兼担教員1名及び兼任講師3名に変更。「講師1」「兼5」から「兼7」に変更。英語ⅡBについて「兼7」から「講師1」「兼6」に変更。令和3年5月AC教員審査済。(4)
- ・ドイツ語ⅡA、ドイツ語ⅡB、フランス語ⅠA、フランス語ⅠB、中国語ⅠA、中国語ⅠB、中国語ⅡA、中国語ⅡB、ドイツ語ⅢA、ドイツ語ⅢB、フランス語ⅢA、フランス語ⅢB、中国語ⅢA、中国語ⅢB：時間割編成のため、兼担教員又は兼任講師を別の兼担教員又は兼任講師に変更。中国語ⅠBについて退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。(4)
- ・韓国語ⅠA及び韓国語ⅠB：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。時間割編成のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・韓国語ⅡA及び韓国語ⅡB：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、1コマ増。時間割編成のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。
- ・英語ⅢA及び英語ⅢB：英語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、5クラスから8クラス開講に変更(4学部共通開設)。退職及び時間割編成のため、兼担教員3名・兼任講師1名から兼担教員3名・兼任講師5名に変更。「兼4」から「兼8」に変更。英語ⅢBについて退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。(4)
- ・日本語ⅢA及び日本語ⅢB：教育課程の充実のため6クラス開講(全学部共通開設)。
- ・韓国語ⅢA及び韓国語ⅢB：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・英語演習Ⅰ：前記講師1名から兼担教員1名への変更に加え、担当教員のコマ数調整のため1コマ減。「講師1」「兼4」から「兼4」に変更。
- ・英語演習Ⅱ：担当教員のコマ数調整のため兼担教員2名を別の兼担教員2名に変更して4コマ開講。「兼4」から「兼3」に変更。
- ・ドイツ語演習Ⅰ及びドイツ語演習Ⅱ：年次計画に基づき兼担教員1名で開講。
- ・中国語演習Ⅰ：担当教員のコマ数調整のため兼担教員1名・2コマ開設を兼担教員1名・兼任講師1名に変更。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・日本語演習Ⅰ及び日本語演習Ⅱ：教育課程充実のため兼担教員1名を追加。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・海外語学演習：前記講師1名から兼担教員1名への変更に加え、退職のため兼担教員1名を別の兼担教員1名に変更。「准教授1」「講師1」「兼5」から「准教授1」「兼6」に変更。後期より「准教授1」「兼6」から「准教授1」「講師1」「兼5」に変更。令和3年5月AC教員審査済。新型コロナウイルス感染症の影響により「講師1」「兼2」について未開講、「准教授1」「兼2」について受講者0名のため未開講。「兼1」に変更。(4)
- ・専門実技(フィットネスA)及び専門実技(フィットネスB)：就任辞退のため、別の兼任講師に変更。令和4年度開講。
- ・専門実技(パドルスポーツ)：就任辞退のため、別の兼任講師に変更。開講期を後期に変更。
- ・専門実技(自然活動C)：就任辞退のため、オムニバスから単独に変更。「兼2」から「兼1」に変更。
- ・専門実技(アクア・マリンスポーツ)及び専門実技(スキー・スノーボード)並びに海外スポーツ文化研修：新型コロナウイルス感染症の影響により未開講。(4)
- ・健康とスポーツの医学A：担当教員のコマ数調整のため、開講期を前・後期に変更。
- ・運動学及びスポーツ人類学：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。
- ・健康・体力づくり指導法：就任辞退のため、担当者検討中。令和4年度開講予定。
- ・教職論：退職のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。
- ・教育心理学：兼担教員の兼任講師への変更及び兼任講師退職のため別の兼任講師1名に変更。「兼2」から「兼1」・前後期各1コマ担当に変更。
- ・特別支援教育Ⅰ：就任辞退のため、兼任講師2名のオムニバス形式から別の兼任講師1名による単独開講に変更。「兼2」から「兼1」に変更。
- ・特別支援教育Ⅱ：就任辞退のため、兼任講師2名を別の兼任講師1名に変更。「兼4」から「兼3」に変更。
- ・総合的な学習の時間の指導：退職のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに、受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。
- ・特別活動の指導：受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。
- ・生徒指導：就任辞退のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに、受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。
- ・教育相談及び進路指導：就任辞退のため、別の兼任講師各1名に変更。

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

- 授業科目名の変更、新規科目の追加などを箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	176 科目	23 科目	229 科目	30 科目 []	182 科目 [+6]	23 科目 [0]	235 科目 [+6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	労働と社会	2	2・3	一般	選択	担当教員の副学長就任に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。教養基礎科目群・教養発展科目における選択科目は6単位であるが、他に20科目を開講していることから令和3年度は休講とした。(3)
2	地域企業論	2	1・2	一般	選択	担当教員の定年退職に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。教養基礎科目群・地域科目(4単位選択)における教育課程の充実のため新規に追加した科目であり、他に15科目を開講していることから令和3年度は休講とした。(3)
3	地域と社会	2	1・2	一般	選択	担当教員の定年退職に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。教養基礎科目群・地域科目(4単位選択)における教育課程の充実のため新規に追加した科目であり、他に15科目を開講していることから令和3年度は休講とした。(3)
4	専門実技(ラグビー)	1	2・3	専門	選択	専攻基幹科目・実技科目の履修者決定に際し、二次募集まで行ったが、履修希望者が3名しかおらず、最少催行人数(10名)に達しなかった。履修希望者3名への措置として本人の意向も踏まえ、2名は他の実技科目への振替、1名は履修取消しとした上で、令和3年度は休講とした。(3)
5	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	1	2・3	専門	選択	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、大学全体の方針として、県をまたぐ移動、集団での宿泊を伴い集団感染が懸念される形態での授業を行わないこととなり、当科目については海での実技を必須とすることから令和3年度は休講とし、受講希望者20名については、履修取り消しとしたうえで、希望に基づき別の専門実技に振り替えることとした。(4)
6	専門実技(スキー・スノーボード)	1	2・3	専門	選択	新型コロナウイルス感染状況の拡大状況を踏まえ、大学全体の方針として、県をまたぐ移動、集団での宿泊を伴い集団感染が懸念される形態での授業を行わないこととなり、宿泊を伴わない近隣施設での実施も検討したが、要する技術レベルを充当できる場所が確保できないことから令和3年度は休講とし、受講希望者30名については、履修取り消しとした。(4)
7	海外スポーツ文化研修	2	2・3	専門	選択	当該科目はニュージーランドにおいて実施する実践的研修科目であるが、新型コロナウイルス感染症の影響による海外への渡航制限や現地での活動における安全面を考慮し、令和3年度は休講とし、受講希望者3名については、履修取り消しとした。(4)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年度未開講科目のうち、一般3科目については、いずれも選択科目であり、各科目群に他の科目が開講されていることから休講とした。いずれについても、講義時間割表及び履修ガイダンスで周知しており、学生の混乱はなかった。

また、専門1科目については、集団の専門実技として、ある程度の履修者数を要することから、二次募集まで行った結果最少催行人数を満たさず、履修希望者への措置を行ったうえで休講としたことはやむを得ない措置と考えている。次年度に向けては時間割編成の工夫等受講しやすい環境の整備に努める。

(3)

年度途中で休講とした専門3科目については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、大学として安全確保を第一として休講を決定した。専門実技（アクア・マリンスポーツ）及び海外スポーツ文化研修は夏期休業期間中に休講を決定したことで秋学期において履修変更が可能であったが、専門実技（スキー・スノーボード）は2月上旬に休講を決定したことから当該年度の履修変更が出来ず、次年度において措置をすることとした。(4)

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{229} = \boxed{3.05}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	83,104.22 m ²	0 m ²	0 m ²	83,104.22 m ²			
	運動場用地	84,928.00 m ²	0 m ²	0 m ²	84,928.00 m ²			
	小 計	168,032.22 m ²	0 m ²	0 m ²	168,032.22 m ²			
	そ の 他	109,418.37 m ²	0 m ²	0 m ²	109,418.37 m ²			
	合 計	277,450.59 m ²	0 m ²	0 m ²	277,450.59 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	62,888.28 m ² (62,888.28 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	62,888.28 m ² (62,888.28 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室整備計画の見直し 及び異動等に伴う増員 (2) 講義室から実習室への 用途変更 (3)		
	47室 48室 47室	35室	15室 14室 15室	5室 4 (補助職員 3人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	スポーツ科学部スポーツ科学科			24 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具は、学部単 位での特定不能なた め、大学全体の数 大学全体の数 図書 348,720冊 〔86,760冊〕 学術雑誌 3,838種 〔1,350種〕 電子ジャーナル 73種 〔65種〕 視聴覚資料 14,608点 図書 360,956冊 〔87,035冊〕 学術雑誌 3,867種 〔1,354種〕 電子ジャーナル 74種 〔65種〕 視聴覚資料 8,097点 図書・視聴覚資料等の 見直しのため(2) 図書 365,127冊 〔87,059冊〕 学術雑誌 3,882種 〔1,356種〕 電子ジャーナル 76種 〔66種〕 視聴覚資料 8,271点 図書、学術雑誌、視聴 覚資料受入及び教育環 境整備のため(3)
	スポーツ科学部	45,608〔11,298〕	123〔33〕 119〔31〕 118〔31〕	4〔3〕 3〔3〕	1,803 1,785 1,762	26,737 (26,697)	0	
		(45,021〔11,299〕) (44,336〔11,298〕) (43,211〔11,298〕)	(123〔33〕) (119〔31〕) (118〔31〕)	(4〔3〕) (3〔3〕)	(1,803) (1,785) (1,762)	(26,737) (26,068)	0	
	計	45,608〔11,298〕	123〔33〕 119〔31〕 118〔31〕	4〔3〕 3〔3〕	1,803 1,785 1,762	26,737 (26,697)	0	
	(45,021〔11,299〕) (44,336〔11,298〕) (43,211〔11,298〕)	(123〔33〕) (119〔31〕) (118〔31〕)	(4〔3〕) (3〔3〕)	(1,803) (1,785) (1,762)	(26,737) (26,068)	0		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	10,459m ²	582席		559,750冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 前年度記載漏れ (3)		
	6,986m ²	陸上競技場1面、野球場1面、グラ ウンドホッケー場1面、多目的グラ ウンド1面		テニスコート9面、ゴルフ練習場、 武道場、弓道場				

(8)	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度には、開設前々年度の経費も含む。共同研究費等は学部単位での算出が不能なため、大学全体。図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含まない。全学予算による調整と消費税のため(2)新規後継機種への変更のため。私学行政課事前相談済み(3)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	225千円	225千円	図書購入費	3,003千円	1,000千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	3,852千円 4,350千円	4,350千円	設備購入費	354,776千円 354,781千円	15,796千円 26,356千円 25,877千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	申請学部全体	
		1,360千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	駿河台大学						1	平均入学定員超過率1.3倍以上の 学科数	0	備考	
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)		開設 年度
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法学部											
法律学科	4	220	3年次 10	900	学士 (法学)	1.21	1.20	-	昭和62	埼玉県飯能市大 字阿須字一の木 698番地	
経済経営学部											
経済経営学科	4	210	3年次 10	860	学士 (経済学、経 営学)	1.21	1.18	-	平成25	同上	
経済と社会コース	4	80	-	320	学士 (経済学)	0.49	0.50	-	平成25	同上	3年次よりコース 選択
メディア情報学部											
メディア情報学科	4	140	3年次 10	580	学士 (メディア 情報学)	1.22	1.17	-	平成21	同上	
現代文化学部											
現代文化学科	4	-	3年次 20	440	学士 (現代文化 学)	1.01	-	-	平成21	同上	令和2年学生募 集停止
スポーツ科学部											
スポーツ科学科	4	200	-	400	学士 (スポーツ 科学)	1.20	1.22	-	令和2	同上	
心理学部											
心理学科	4	140	-	560	学士 (心理学)	1.15	1.05	-	平成21	同上	
心理学研究科	2	30	-	60	修士 (心理学)	0.34	0.43	-	平成21	-	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	15	-	30	修士 (心理学)	0.46	0.60	-	平成21	同上	
犯罪心理学専攻(修士課程)	2	15	-	30	修士 (心理学)	0.23	0.26	-	平成29	同上	
総合政策研究科	2	21	-	42	-	0.25	0.28	-	平成26	-	
法学専攻(修士課程)	2	7	-	14	修士 (法学)	0.14	0.14	-	平成26	同上	
経済・経営学専攻(修士課程)	2	7	-	14	-	0.28	0.28	-	平成26	同上	
経済分野					修士 (経済学)	-	-	-	平成26	同上	
企業経営分野					修士 (経営学)	-	-	-	平成26	同上	
メディア情報学専攻(修士課程)	2	7	-	14	修士 (メディア情 報学)	0.35	0.42	-	平成26	同上	
大学全体	-	961	50	3,842	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学部長)	吉野 貴順 <令和2年4月> 博士(医学)	専	教授 (学部長)	吉野 貴順 <令和2年4月> 博士(医学)	専	教授 (学部長)	吉野 貴順 <令和2年4月> 博士(医学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツの測定評価※ スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツの測定評価※ スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツの測定評価※ スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	大貫 秀明 (高) <令和2年4月> M.A. in Movement Studies (Dance) (英国)	専	教授	大貫 秀明 (高) <令和2年4月> M.A. in Movement Studies (Dance) (英国)	専	教授	大貫 秀明 (高) <令和2年4月> M.A. in Movement Studies (Dance) (英国)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ科学入門B※ スポーツ哲学 専門実技(ダンス) 身体文化論 海外スポーツ文化研修 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツ科学入門B※ スポーツ哲学 専門実技(ダンス) 身体文化論 海外スポーツ文化研修 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ科学入門B※ スポーツ哲学 専門実技(ダンス) 身体文化論 海外スポーツ文化研修 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	坂本 静男 (高) <令和3年4月> 医学博士	専	教授	坂本 静男 (高) <令和3年4月> 医学博士	専	教授	坂本 静男 (高) <令和3年4月> 医学博士
		健康とスポーツの医学A 健康とスポーツの医学B ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康とスポーツの医学A 健康とスポーツの医学B ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康とスポーツの医学A 健康とスポーツの医学B ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	鹿倉 二郎 (高) <令和2年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	教授	鹿倉 二郎 (高) <令和2年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	教授	鹿倉 二郎 (高) <令和2年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		救急処置法※ アスレティックトレーナー論 コンディショニング論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			救急処置法※ アスレティックトレーナー論 コンディショニング論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			アスレティックトレーナー論 コンディショニング論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	秋池 宏美 (高) <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	秋池 宏美 (高) <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	秋池 宏美 (高) <令和2年4月> 教育学修士
		ジェンダー論 教育と法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 道德教育の理論と方法 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ			ジェンダー論 教育と法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 道德教育の理論と方法 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ			ジェンダー論 教育と法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 道德教育の理論と方法 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ
専	教授	時本 謙資 <令和2年4月> 博士(政治学)	専	教授	時本 謙資 <令和2年4月> 博士(政治学)	専	教授	時本 謙資 <令和2年4月> 博士(政治学)
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ チームビルディング※ スポーツ・マネジメント 専門実技(自然活動A) 専門実技(自然活動B) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツと政治 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ チームビルディング※ スポーツ・マネジメント 専門実技(自然活動A) 専門実技(自然活動B) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツと政治 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ チームビルディング※ スポーツ・マネジメント 専門実技(自然活動A) 専門実技(自然活動B) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツと政治 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士
		プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			まちづくり実践 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※
専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※
		プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			飯能学 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	平野 和弘 <令和2年4月> 教育学士	専	准教授	平野 和弘 <令和2年4月> 教育学士	専	准教授	平野 和弘 <令和2年4月> 教育学士
		スポーツ教育学 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 特別活動の指導 生徒指導 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ			スポーツ教育学 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 特別活動の指導 生徒指導 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ教育学 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 特別活動の指導 生徒指導 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ
専	准教授	久我 晃広 <令和2年4月> 修士(人間科学)	専	准教授	久我 晃広 <令和2年4月> 修士(人間科学)	専	准教授	久我 晃広 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		スポーツ科学入門A※ スポーツの測定評価※ スポーツ・バイオメカニクス 専門実技(ホッケー) スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツ科学入門A※ スポーツの測定評価※ スポーツ・バイオメカニクス 専門実技(ホッケー) スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツ科学入門A※ スポーツの測定評価※ スポーツ・バイオメカニクス 専門実技(ホッケー) スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	小林 将輝 <令和2年4月> 修士(学術)※	専	准教授	小林 将輝 <令和2年4月> 修士(学術)※	専	准教授	小林 将輝 <令和2年4月> 修士(学術)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ 海外語学演習 異文化とスポーツ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ 海外語学演習 異文化とスポーツ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ 海外語学演習 異文化とスポーツ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	朴 周鳳 <平成32年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	朴 周鳳 <平成32年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	朴 周鳳 <平成32年4月> 博士(人間科学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ文化論 スポーツ史 専門実技(柔道) スポーツ人類学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ文化論 スポーツ史 専門実技(柔道) スポーツ人類学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ文化論 スポーツ史 専門実技(柔道) スポーツ人類学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	信太 直己 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	信太 直己 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	信太 直己 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 労働衛生Ⅰ 労働衛生Ⅱ スポーツ科学入門A※ ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学 スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 労働衛生Ⅰ 労働衛生Ⅱ スポーツ科学入門A※ ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学 スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 労働衛生Ⅰ 労働衛生Ⅱ スポーツ科学入門A※ ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学 スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			
専	准教授	綿海 未祐子 <令和2年4月> 博士(教育学)	綿海 未祐子 <令和2年4月> 博士(教育学)	綿海 未祐子 <令和2年4月> 博士(教育学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ
専	准教授	小丸 超 <令和2年4月> 博士(社会学)	小丸 超 <令和2年4月> 博士(社会学)	小丸 超 <令和2年4月> 博士(社会学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	丸藤 祐子 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	丸藤 祐子 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	丸藤 祐子 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	飯田 悠佳子 <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)	飯田 悠佳子 <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)	飯田 悠佳子 <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 救急処置法 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 救急処置法 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 救急処置法 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	MATTHEWS JOEL DAVID <令和2年4月> 修士(学術)	MATTHEWS JOEL DAVID <令和2年4月> Ph.D. (East Asian Studies) (米國)	MATTHEWS JOEL DAVID <令和2年4月> Ph.D. (East Asian Studies) (米國)
		国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習	国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習	英語ⅡA 英語ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	石川 真知子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (濠国)	兼任	講師	石川 真知子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (濠国)	兼任	講師	石川 (岩橋) 真知子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (濠国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B 英語演習 I 英語演習 II			英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B 英語演習 I 英語演習 II			国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語 II A 英語 II B 英語演習 I 海外語学演習
専任	講師	石川 (岩橋) 真知子 <令和3年9月> Doctor of Philosophy (濠国)	専任	講師	石川 (岩橋) 真知子 <令和3年9月> Doctor of Philosophy (濠国)	専任	講師	石川 (岩橋) 真知子 <令和3年9月> Doctor of Philosophy (濠国)
		国際社会と日本 プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語 II B 海外語学演習			国際社会と日本 プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語 II B 海外語学演習			
専任	講師	邑木 隆二 <令和2年4月> 修士 (スポーツ科学)	専任	講師	邑木 隆二 <令和2年4月> 修士 (スポーツ科学)	専任	講師	邑木 隆二 <令和2年4月> 修士 (スポーツ科学)
		プレゼミナール I プレゼミナール II 健康・スポーツ実習 I 健康・スポーツ実習 II 専門実技 (ジョギング・ウォーキング) 専門実技 (陸上競技) スポーツコーチング論※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			プレゼミナール I プレゼミナール II 健康・スポーツ実習 I 健康・スポーツ実習 II 専門実技 (ジョギング・ウォーキング) 専門実技 (陸上競技) スポーツコーチング論※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			プレゼミナール I プレゼミナール II 健康・スポーツ実習 I 健康・スポーツ実習 II 専門実技 (ジョギング・ウォーキング) 専門実技 (陸上競技) スポーツコーチング論※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV
専任	講師	田中 輝海 <令和2年4月> 博士 (心理学)	専任	講師	田中 輝海 <令和2年4月> 博士 (心理学)	専任	講師	田中 輝海 <令和2年4月> 博士 (心理学)
		教養基礎講座※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			教養基礎講座※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			教養基礎講座※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV
専任	講師	鈴木 慶子 <令和2年4月> 修士 (体育科学)	専任	講師	鈴木 慶子 <令和2年4月> 修士 (体育科学)	専任	講師	鈴木 慶子 <令和2年4月> 修士 (体育科学)
		プレゼミナール I プレゼミナール II 専門実技 (体づくり運動) ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			プレゼミナール I プレゼミナール II 専門実技 (体づくり運動) ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV			プレゼミナール I プレゼミナール II 専門実技 (体づくり運動) ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV
兼任	教授	明石 真和 <令和3年4月> 文学修士※	兼任	教授	明石 真和 <令和3年4月> 文学修士※	兼任	教授	明石 真和 <令和3年4月> 文学修士※
		ドイツ語演習 I ドイツ語演習 II			ドイツ語演習 I ドイツ語演習 II			インターンシップ I ドイツ語演習 I ドイツ語演習 II
兼任	教授	葉 紅 (梶山 葉紅) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授	葉 紅 (梶山 葉紅) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	教授	葉 紅 (梶山 葉紅) <令和2年4月> 文学修士※
		中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B 中国語 III A 中国語 III B 中国語演習 I 中国語演習 II 海外語学演習			中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B 中国語 III A 中国語 III B 中国語演習 I 中国語演習 II 海外語学演習			中国語 I A 中国語 I B 中国語演習 I 中国語演習 II 海外語学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph. D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米 国) インターンシップ I	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph. D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米 国) インターンシップ I	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph. D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米 国) インターンシップ I
兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士
	環境生物学 I 環境生物学 II 生命の科学 I 生命の科学 II 地域環境論			環境生物学 I 環境生物学 II			環境生物学 I 環境生物学 II 生命の科学 I 生命の科学 II 地域環境論	
兼任	教授	八木 (木下) 真奈美 <令和2年4月> 博士 (文学)	兼任	教授	八木 (木下) 真奈美 <令和2年4月> 博士 (文学)	兼任	教授	八木 (木下) 真奈美 <令和2年4月> 博士 (文学)
	日本語 I A 日本語 I B 日本語 III A 日本語 III B			日本語 III A 日本語 III B			日本語 III A 日本語 III B 日本語演習 I 日本語演習 II	
兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士 (社会学) コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士 (社会学) コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士 (社会学) コミュニケーション論
兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士 (経済学) 経済学 I 経済学 II	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士 (経済学) 経済学 I	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士 (経済学) 経済学 I
兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士 (文学) 文学 II 歴史学 II 英語 I A 英語 I B	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士 (文学) 文学 II 歴史学 II	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士 (文学) 文学 II 歴史学 II
兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※ 英語 I A 英語 I B	兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※	兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※ 英語 I A 英語 I B
兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士 (専門職) 現代社会とメディア	兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士 (専門職) 現代社会とメディア	兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士 (専門職) 現代社会とメディア
兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士 (医学) こころの科学 I 現代人と心理 I	兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士 (医学) 現代人と心理 I	兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士 (医学) 現代人と心理 I
兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士 ※ 生涯学習論 ※	兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士 ※ 生涯学習論 ※	兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士 ※ 生涯学習論 ※
兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士 (物理) 現代自然科学 I 現代自然科学 II インターンシップ II まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士 (物理) 現代自然科学 I 現代自然科学 II 人工知能概論 インターンシップ II まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士 (物理) 現代自然科学 I 現代自然科学 II 人工知能概論 まちづくり実践
兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士 (日本史学) ※ 歴史学 I 地域と歴史	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士 (日本史学) ※ 歴史学 I 地域と歴史	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士 (日本史学) ※ 歴史学 I 地域と歴史
兼任	教授	油井 (高井) 恵 <令和2年4月> 修士 (学術) ※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV 英語 I A 英語 I B	兼任	教授	油井 (高井) 恵 <令和2年4月> 修士 (学術) ※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV	兼任	教授	油井 (高井) 恵 <令和2年4月> 修士 (学術) ※ プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			
兼任	教授	増田(石井) 珠子 <令和2年4月> 修士(文学)※	増田(石井) 珠子 <令和2年4月> 修士(文学)※	増田(石井) 珠子 <令和2年4月> 修士(文学)※
	文学 I 歴史学 I 子ども文化論 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B	文学 I 歴史学 I 子ども文化論 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B	文学 I 歴史学 I 子ども文化論 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B	文学 I 歴史学 I 子ども文化論
兼任	教授	上河内(徳本) 千香子 <令和4年4月> 博士(法学)	上河内(徳本) 千香子 <令和4年4月> 博士(法学)	上河内(徳本) 千香子 <令和4年4月> 博士(法学)
	スポーツと法	スポーツと法	スポーツと法	スポーツと法
兼任	教授	朴 昌明 <令和3年4月> Ph. D. in Economics (韓国)	朴 昌明 <令和3年4月> Ph. D. in Economics (韓国)	朴 昌明 <令和3年4月> Ph. D. in Economics (韓国)
	労働と社会 韓国語演習 I 韓国語演習 II 海外語学演習	労働と社会 韓国語演習 I 韓国語演習 II 海外語学演習	労働と社会 韓国語演習 I 韓国語演習 II 海外語学演習	労働と社会 韓国語演習 I 韓国語演習 II 海外語学演習
兼任	准教授	小林 奈穂美 <令和2年4月> 修士(保健学)	小林 奈穂美 <令和2年4月> 修士(保健学)	小林 奈穂美 <令和2年4月> 修士(保健学)
	プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV フィールドトリップ※ インターンシップ I			
兼任	准教授	梅村 慶嗣 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	梅村 慶嗣 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	梅村 慶嗣 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
	キャリア基礎 I キャリア基礎 II キャリア発展 キャリア実践論 I キャリア実践論 II キャリア実践論 III			
兼任	准教授	中川(山田) 洋子 <令和2年4月> 博士(言語学)	中川(山田) 洋子 <令和2年4月> 博士(言語学)	
	英語 I A 英語 I B 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B 海外語学演習	英語 I A 英語 I B 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B 海外語学演習	英語 I A 英語 I B 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B 海外語学演習	
兼任	准教授	前田 悦子 <令和2年4月> 修士(経済学)※	前田 悦子 <令和2年4月> 修士(経済学)※	前田 悦子 <令和2年4月> 修士(経済学)※
	ライフサイクルと社会保障 インターンシップ II	ライフサイクルと社会保障 インターンシップ II	ライフサイクルと社会保障 インターンシップ II	ライフサイクルと社会保障
兼任	准教授	長尾 建 <令和2年4月> 修士(文学)※	長尾 建 <令和2年4月> 修士(文学)※	長尾 建 <令和2年4月> 修士(文学)※
	教養基礎講座※ プレゼミナール I プレゼミナール II 文学 I 文学 II プレゼミナール III プレゼミナール IV 異文化と文学 歴史探訪※ 地域と文学			
兼任	准教授	佐竹(杉谷) 由帆 <令和2年4月> M. A. TESOL (英国) ※	佐竹(杉谷) 由帆 <令和2年4月> 博士(学術) ※	佐竹(杉谷) 由帆 <令和2年4月> 博士(学術) ※
	プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV 英語 I A 英語 I B	プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV	プレゼミナール I プレゼミナール II プレゼミナール III プレゼミナール IV	
兼任	准教授	近藤 育代 <令和3年4月> 博士(文学)	近藤 育代 <令和3年4月> 博士(文学)	近藤 育代 <令和3年4月> 博士(文学)
	教育相談※	教育相談※	教育相談※	教育相談※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)
	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習			フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習			フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習	
兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※
	インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ			インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ			インターネット文化論 インターンシップⅠ	
兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)
	教育心理学			まちづくり実務 教育心理学				
兼任	講師	TODD, JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M.A. English Education (米 国)	兼任	准教授	TODD, JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M.A. English Education (米 国)	兼任	准教授	TODD, JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M.A. English Education (米 国)
	英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅱ 海外語学演習			英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習			英語ⅡA 英語ⅡB 海外語学演習	
兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
	キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ			キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ			キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ	
兼任	講師	石川 賀一 <令和4年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	石川 賀一 <令和4年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	石川 賀一 <令和4年4月> 修士(教育学)※
	生涯学習論※			生涯学習論※			生涯学習論※	
兼任	講師	石田 若菜 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若菜 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若菜 <令和2年4月> 修士(法学)※
	憲法概論			憲法概論			憲法概論	
兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	講師	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※
	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ	
兼任	助教	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)	兼任	講師	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)			
	現代社会と法			現代社会と法				
			兼任	教授	塚本 美恵子 准 <令和2年4月> Master of Arts (Family and Community Education) (米 国) インターシップⅡ			
			兼任	教授	小澤 伸光 准 <令和2年4月> 経営学修士※ インターシップⅡ			
			兼任	教授	原 聡 高 <令和2年4月> 教育学修士 こころの科学Ⅰ 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ	兼任	教授	原 聡 高 <令和2年4月> 教育学修士 こころの科学Ⅰ 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
			兼任	教授	町田 欣弥 高 <令和2年4月> 工学士 インターシップⅡ	兼任	教授	町田 欣弥 高 <令和2年4月> 工学士 インターシップⅡ
			兼任	教授	小俣 隼二 高 <令和2年4月> 博士(心理学) こころの科学Ⅱ	兼任	教授	小俣 隼二 高 <令和2年4月> 博士(心理学) こころの科学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								清海 節子 高 <令和3年4月> Ph.D.(Linguistics)(米 国)※
								英語ⅢA 英語ⅢB
			兼任	教授	干草 孝雄 高 <令和2年4月> 法学士			
								インターシップⅡ
								湯浅 由一 <令和3年4月> 経済学修士※
								地域と金融
								城井 光広 <令和3年4月> 芸術学修士
								インターシップⅡ まちづくり実践
								野田 裕康 <令和3年4月> 博士(経済学)※
								地域社会と経済※
			兼任	教授	木塚 隆志 <令和2年4月> 博士(文学)			木塚 隆志 <令和2年4月> 博士(文学)
								インターシップⅡ
			兼任	教授	孔 炳龍 <令和2年4月> 博士(会計学)※			孔 炳龍 <令和2年4月> 博士(会計学)※
								まちづくり実践
			兼任	教授	菊田 秀雄 <令和3年4月> 修士(法学)※			菊田 秀雄 <令和3年4月> 修士(法学)※
								現代社会と法
			兼任	准教授	関島 真幸 <令和3年4月> 経営学修士			関島 真幸 <令和3年4月> 経営学修士
								まちづくり実践
			兼任	准教授	松平 光徳 <令和3年4月> 法学修士			松平 光徳 <令和3年4月> 法学修士
								インターンシップⅠ
			兼任	准教授	羽淵 貴司 <令和3年4月> 博士(商学)			羽淵 貴司 <令和3年4月> 博士(商学)
								インターンシップⅡ
			兼任	准教授	金 善弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学)			金 善弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学)
			兼任	准教授	清水 知佳 <令和3年4月> 博士(環境学)※			清水 知佳 <令和3年4月> 博士(環境学)※
								地域社会と環境
			兼任	講師	山崎 穂広 <令和2年4月> 博士(学術)			山崎 穂広 <令和2年4月> 博士(学術)
								インターシップⅡ
			兼任	講師	鳥原 知大 <令和2年4月> 文学修士※			鳥原 知大 <令和2年4月> 文学修士※
								英語ⅠA 英語ⅠB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外留学演習
			兼任	講師	福島 大我 <令和3年4月> 博士(歴史学)※			福島 大我 <令和3年4月> 博士(歴史学)※
								歴史学Ⅱ
			兼任	講師	内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学)			内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学)
								コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								DE HAVEN, SHAWN <令和3年4月> 修士(比較文化) ※
						兼任	助教	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ
								須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション) ※
			兼任	助教	英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ			須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション) ※
								青野 正太 <令和3年4月> 修士(図書館・情報学) インターンシップⅠ
								藤掛 友希 <令和3年4月> 修士(文学) ※ まなづくり実践
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ ※	兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ ※	兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ ※
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅡA 日本語ⅡB	兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 教職論 総合的な学習の時間の指導			
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学
兼任	講師	申 産變 <令和2年4月> 文学修士 ※ 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB	兼任	講師	申 産變 <令和2年4月> 文学修士 ※ 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB	兼任	講師	申 産變 <令和2年4月> 文学修士 ※
兼任	講師	橋口 進代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	兼任	講師	橋口 進代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	兼任	講師	橋口 進代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)
兼任	講師	孫 国震 <令和2年4月> 文学修士 ※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB	兼任	講師	孫 国震 <令和2年4月> 文学修士 ※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB	兼任	講師	孫 国震 <令和2年4月> 文学修士 ※ 中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	蔦 颯輝 <令和2年4月> 社会学修士	中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 <令和3年4月> 体育学修士	専門実技(体カトレーニング)
兼任	講師	森 敏生 <令和3年4月> 教育学修士	保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 <令和3年4月> 博士(都市科学)	健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 <令和2年4月> 教育学修士	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(バレーボール) 専門実技(バスケットボール)
兼任	講師	岡田 啓美 <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 <令和3年4月> 教育学修士※	特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 <令和4年4月> 教育学修士	教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 <令和2年4月> Master of Science(Exercise Science)(米園)	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(水泳) スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ <令和3年4月> 教育学修士	総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 <令和2年4月> 博士(学術)	韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	蛭間 純子 <令和2年4月> 学士(Bachelor Arts)(米園)	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(フィットネスA) 専門実技(フィットネスB) 健康・体づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 <令和3年4月> 修士(教育学)※	生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 <令和2年4月> 体育学修士	からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技(テニス)
兼任	講師	笛木 寛 <令和2年4月> 体育学修士	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ指導者論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	蔦 颯輝 <令和2年4月> 社会学修士	中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 <令和3年4月> 体育学修士	専門実技(体カトレーニング)
兼任	講師	森 敏生 <令和3年4月> 教育学修士	保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 <令和3年4月> 博士(都市科学)	健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 <令和2年4月> 教育学修士	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(バレーボール) 専門実技(バスケットボール)
兼任	講師	岡田 啓美 <令和2年4月> 文学修士	
兼任	講師	浜野 兼一 <令和3年4月> 教育学修士※	特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 <令和4年4月> 教育学修士	教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 <令和2年4月> Master of Science(Exercise Science)(米園)	専門実技(水泳) スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ <令和3年4月> 教育学修士	総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 <令和2年4月> 博士(学術)	韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	蛭間 純子 <令和2年4月> 学士(Bachelor Arts)(米園)	専門実技(フィットネスA) 専門実技(フィットネスB) 健康・体づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 <令和3年4月> 修士(教育学)※	生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 <令和2年4月> 体育学修士	からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技(テニス)
兼任	講師	笛木 寛 <令和2年4月> 体育学修士	スポーツ指導者論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	蔦 颯輝 <令和2年4月> 社会学修士	中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 <令和3年4月> 体育学修士	専門実技(体カトレーニング)
兼任	講師	森 敏生 <令和3年4月> 教育学修士	保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 <令和3年4月> 博士(都市科学)	健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 <令和2年4月> 教育学修士	専門実技(バレーボール) 専門実技(バスケットボール)
兼任	講師	岡田 啓美 <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 <令和3年4月> 教育学修士※	特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 <令和4年4月> 教育学修士	教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 <令和2年4月> Master of Science(Exercise Science)(米園)	専門実技(水泳) スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ <令和3年4月> 教育学修士	総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 <令和2年4月> 博士(学術)	韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	中川 直樹 <令和2年4月> 体育学修士	からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技(テニス)
兼任	講師	笛木 寛 <令和2年4月> 体育学修士	スポーツ指導者論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	長沼 佐代子 <令和3年4月> 心理学博士 現代人と心理Ⅱ	長沼 佐代子 <令和3年4月> 心理学博士 現代人と心理Ⅱ	長沼 佐代子 <令和3年4月> 心理学博士 現代人と心理Ⅱ
兼任	講師	村山 光子 <令和3年4月> 修士(総合政策)※ 特別支援教育Ⅱ※	村山 光子 <令和3年4月> 修士(総合政策)※ 特別支援教育Ⅱ※	村山 光子 <令和3年4月> 博士(教育学)※ 特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	趙 珠恩 <令和2年4月> 文学修士 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	趙 珠恩 <令和2年4月> 文学修士 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB	趙 珠恩 <令和2年4月> 文学修士 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB
兼任	講師	櫻井(小島) 千絵 <令和2年4月> 修士(文学) ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB	櫻井(小島) 千絵 <令和2年4月> 修士(文学)	櫻井(小島) 千絵 <令和2年4月> 修士(文学) ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	講師	杉本(乗松) 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	杉本(乗松) 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	杉本(乗松) 美穂 <令和3年4月> 修士(文学) 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ
兼任	講師	ネヴィン 朋子 <令和2年4月> 教育学修士 英語ⅡA 英語ⅡB	ネヴィン 朋子 <令和2年4月> 教育学修士 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	ネヴィン 朋子 <令和2年4月> 教育学修士 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	安井 健一郎 <令和2年4月> 開発学修士 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB	安井 健一郎 <令和2年4月> 開発学修士 英語ⅢA 英語ⅢB	安井 健一郎 <令和2年4月> 開発学修士 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	山口 真里 <令和3年4月> 教育学修士 ジェンダー論	山口 真里 <令和3年4月> 教育学修士 ジェンダー論	山口 真里 <令和3年4月> 教育学修士 ジェンダー論
兼任	講師	角替 弘規 <令和2年4月> 修士(教育学) 教職論	角替 弘規 <令和2年4月> 修士(教育学) 教職論	角替 弘規 <令和2年4月> 修士(教育学) 教職論
兼任	講師	千葉 庄寿 <令和2年4月> 修士(文学) 北欧文化論	千葉 庄寿 <令和2年4月> 修士(文学) 北欧文化論	
兼任	講師	西村 拓郎 <令和2年4月> 学士(経済学) 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ	西村 拓郎 <令和2年4月> 学士(経済学) 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ	西村 拓郎 <令和2年4月> 学士(経済学) 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
兼任	講師	津崎 正行 <令和2年4月> 独文学修士 ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB	津崎 正行 <令和2年4月> 独文学修士 ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB	津崎 正行 <令和2年4月> 独文学修士
兼任	講師	洪 明真 <令和3年4月> 修士(教育学) ホスピタリティ論	洪 明真 <令和3年4月> 修士(教育学) ホスピタリティ論	洪 明真 <令和3年4月> 博士(観光科学) ホスピタリティ論
兼任	講師	武 正憲 <令和3年4月> 博士(環境学) 専門実技(パドルスポーツ)	武 正憲 <令和3年4月> 博士(環境学) 専門実技(パドルスポーツ)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	櫻澤 裕樹 <令和3年4月> 博士(環境学) 専門実技(自然活動C)※	兼任	講師	櫻澤 裕樹 <令和3年4月> 博士(環境学) 専門実技(自然活動C)※			
兼任	講師	神野 賢二 <令和3年4月> 修士(社会学) 専門実技(自然活動C)※	兼任	講師	神野 賢二 <令和3年4月> 修士(社会学) 専門実技(自然活動C)※	兼任	講師	神野 賢二 <令和3年4月> 修士(社会学) 専門実技(自然活動C)
兼任	講師	佐藤 美幸 <令和3年4月> 博士(心身障害学) 特別支援教育I※ 特別支援教育II※	兼任	講師	佐藤 美幸 <令和3年4月> 博士(心身障害学) 特別支援教育I※ 特別支援教育II※			
兼任	講師	永作 稔 <令和2年4月> 博士(心理学) 教育心理学 特別支援教育I※ 特別支援教育II※ 教育相談※ 進路指導	兼任	講師	永作 稔 <令和2年4月> 博士(心理学) 教育心理学 特別支援教育I※ 特別支援教育II※ 教育相談※ 進路指導			
兼任	講師	穴戸 渉 <令和2年4月> 修士(体育学) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II メンタルトレーニング論	兼任	講師	穴戸 渉 <令和2年4月> 修士(体育学) メンタルトレーニング論	兼任	講師	穴戸 渉 <令和2年4月> 修士(体育学) メンタルトレーニング論
兼任	講師	吉松 梓 <令和4年4月> 修士(体育学) アダプテッドスポーツ論	兼任	講師	吉松 梓 <令和4年4月> 修士(体育学) アダプテッドスポーツ論	兼任	講師	吉松 梓 <令和4年4月> 修士(体育学) アダプテッドスポーツ論
兼任	講師	武田 哲子 <令和4年4月> 博士(体育科学) スポーツ栄養学	兼任	講師	武田 哲子 <令和4年4月> 博士(体育科学) スポーツ栄養学	兼任	講師	武田 哲子 <令和4年4月> 博士(体育科学) スポーツ栄養学
兼任	講師	小池 太 <令和2年4月> Master of Outdoor and Environmental Education(遼 国) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II	兼任	講師	小池 太 <令和2年4月> Master of Outdoor and Environmental Education (遼国) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II	兼任	講師	小池 太 <令和2年4月> Master of Outdoor and Environmental Education (遼国) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II
兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 <令和2年4月> 修士(体育学) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II	兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 <令和2年4月> 修士(体育学) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II	兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 <令和2年4月> 修士(体育学) 健康・スポーツ実習I 健康・スポーツ実習II
兼任	講師	仲宗根 森敏 <令和3年4月> 修士(体育学) 専門実技(器械運動) 運動学	兼任	講師	仲宗根 森敏 <令和3年4月> 修士(体育学) 専門実技(器械運動) 運動学	兼任	講師	仲宗根 森敏 <令和3年4月> 修士(体育学) 専門実技(器械運動) 運動学
兼任	講師	持田 隆平 <令和2年4月> 修士(人間科学) こころの科学I こころの科学II	兼任	講師	持田 隆平 <令和2年4月> 修士(人間科学) こころの科学I こころの科学II	兼任	講師	持田 隆平 <令和2年4月> 修士(人間科学) こころの科学I こころの科学II
兼任	講師	飯塚 哲司 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学) 救急処置法 専門実技(水泳)	兼任	講師	飯塚 哲司 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学) 救急処置法 専門実技(水泳)	兼任	講師	飯塚 哲司 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学) 救急処置法 専門実技(水泳)
兼任	講師	浅野 公貴 <令和3年4月> 修士(法学) 労働基準法 労働安全衛生法I 労働安全衛生法II						
兼任	講師	高井 寛 <令和2年4月> 修士(文学) 倫理学I	兼任	講師	高井 寛 <令和2年4月> 修士(文学) 倫理学I			
兼任	講師	小柳 将吾 <令和2年4月> 修士(体育科学) チームビルディング※	兼任	講師	小柳 将吾 <令和2年4月> 修士(体育科学) チームビルディング※	兼任	講師	小柳 将吾 <令和2年4月> 修士(体育科学) チームビルディング※
			兼任	講師	ANTHONY. HUGH. LAWRENCE <令和2年4月> B. A. (Hons) Japanese & Economic History (米國) 英語II A 英語II B	兼任	講師	ANTHONY. HUGH. LAWRENCE <令和2年4月> B. A. (Hons) Japanese & Economic History (米國) 英語III A 英語III B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	講師	堺 和男 <令和2年4月> 文学修士			
					英語 I A 英語 I B			
						兼任	講師	吉田 隆 <令和3年4月> 体育学士
								特別支援教育 I 特別支援教育 II ※
						兼任	講師	内田 運 <令和3年4月> 教育学士
								敬職論 生徒指導
						兼任	講師	根岸 恒雄 <令和3年4月> 修士(教育学)
								英語 III A 英語 III B
			兼任	講師	高峰 宣剛 <令和2年4月> 専門学校	兼任	講師	高峰 宣剛 <令和2年4月> 専門学校
					コンピュータ・リテラシー I コンピュータ・リテラシー II			コンピュータ・リテラシー I コンピュータ・リテラシー II
						兼任	講師	原田 芳幸 <令和3年4月> 法学士
								労働安全衛生法 I 労働安全衛生法 II
			兼任	講師	小窪 俊明 <令和2年4月> 教育学修士			
					英語 I A 英語 I B			
			兼任	講師	田中 達一 <令和3年4月> 修士(法学)	兼任	講師	田中 達一 <令和3年4月> 修士(法学)
					労働基準法 労働安全衛生法 I 労働安全衛生法 II			労働基準法
						兼任	講師	長谷川 公江 <令和3年4月> 修士(教育学)
								日本語 III A 日本語 III B
			兼任	講師	王 佩民 <令和2年4月> 博士(法学)	兼任	講師	王 佩民 <令和2年4月> 博士(法学)
					中国語 II A 中国語 II B			中国語 II A 中国語 II B
			兼任	講師	岡部 一宏 <令和2年4月> 工学士	兼任	講師	岡部 一宏 <令和2年4月> 工学士
					敬職論			敬職論
						兼任	講師	大石 章 <令和3年4月> 修士(政策分析)
								地域社会と経済学
						兼任	講師	石井 洋美 81 <令和3年9月> 博士(人文科学)
								中国語 I B
			兼任	講師	藤川 和俊 <令和3年4月> 文学修士	兼任	講師	藤川 和俊 <令和3年4月> 文学修士
								総合的な学習の時間の指導 進路指導
			兼任	講師	鄭 寅玉 <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	鄭 寅玉 <令和2年4月> 教育学修士
					韓国語 II A 韓国語 II B			韓国語 II A 韓国語 II B
			兼任	講師	吉野 瑞恵 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	吉野 瑞恵 <令和2年4月> 博士(文学)
					文学 I 文学 II			文学 I 文学 II
			兼任	講師	田島 智也 <令和2年4月> 農学士	兼任	講師	田島 智也 <令和2年4月> 農学士
					森林文化 I 森林文化 II			森林文化 I 森林文化 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								渡谷 真弓 <令和3年4月> 文学修士※ フランス語ⅢA フランス語ⅢB
								竹原 真 <令和3年4月> 学術修士※ フランス語ⅠA フランス語ⅠB
			兼任	講師	佐藤 由美 <令和2年4月> 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB			
			兼任	講師	小野 雅子 <令和2年4月> Master of Arts (the Division of the Humanities) (米園) 英語ⅠA 英語ⅠB			小野 雅子 <令和2年4月> Master of Arts (the Division of the Humanities) (米園) 英語ⅠA 英語ⅠB
								末廣 みどり <令和3年4月> Master of Arts in Teaching, TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) (米園) 英語ⅠA 英語ⅠB
			兼任	講師	渡邊 浩子 <令和2年4月> 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB			
								藤野 強 <令和3年4月> 高等学校 専門実技 (バドルスーツ)
								小山 都也 <令和3年4月> 社会福祉学士 地域社会と経済※
								佐藤 宏樹 <令和3年4月> 修士(文学)※ 英語ⅢA 英語ⅢB
								山川 亜古 <令和3年4月> 文学修士※ 北欧文化論
								三田 祥子 <令和3年4月> 修士(日本語教育学) 日本語ⅢA 日本語ⅢB
								竹内(寺嶋) 優子 <令和3年4月> 博士(経済学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
								高 美正 <令和3年4月> 修士(学術) 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB
			兼任	講師	尾崎 文太 <令和2年4月> 博士(学術) フランス語ⅠA フランス語ⅠB			尾崎 文太 <令和2年4月> 博士(学術)
			兼任	講師	北條 陽子 <令和2年4月> 修士(経済学) 経済学Ⅱ			
								韓 正芽 <令和3年4月> 修士(学術) 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								永井 綾子 <令和4年4月> 修士(体育学) 専門実技(フィットネスA) 専門実技(フィットネスB)
								新井 克明 <令和3年4月> 修士(文化情報学) インターンシップI
			兼任	講師	岡田 大助 <令和2年4月> 修士(学術) 憲法概論	兼任	講師	岡田 大助 <令和2年4月> 修士(学術) 憲法概論
			兼任	講師	高 穂 旭 <令和2年4月> 修士(言語学)※ 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	兼任	講師	高 穂 旭 <令和2年4月> 修士(言語学)※ 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB
			兼任	講師	KENNETH JOSEPN McCLAIN Ⅲ <令和2年4月> Master of Science (Communication and Multimedia)(米園) 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	KENNETH JOSEPN McCLAIN Ⅲ <令和2年4月> Master of Science (Communication and Multimedia)(米園) 英語ⅡA 英語ⅡB
								CHAMPAGNE, M. ODEN <令和3年9月> Ph. D. in Educatin, Specialization in Educational Leadership (米園) 英語ⅢB
								PARK, CHRIS, HYUNKYU <令和3年4月> Master of Arts in History (韓国) 英語ⅡA 英語ⅡB
			兼任	講師	矢久保 典良 <令和2年4月> 博士(史学) 歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ			
								RICHARD, MARCH <令和3年4月> Master of Arts in Applied Linguistics and English Language Teaching(英国) 英語ⅢA 英語ⅢB
			兼任	講師	千田 英司 <令和2年4月> 修士(政治学)※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB	兼任	講師	千田 英司 <令和2年4月> 修士(政治学)※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅢA 中国語ⅢB
			兼任	講師	木川 明彦 <令和2年4月> 博士(專業情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			
								水野 雅之 <令和3年4月> 博士(心理学) 教育心理学
			兼任	講師	JAMIL, KARIM <令和2年4月> BA in philosophy(米園) 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	JAMIL, KARIM <令和2年4月> BA in philosophy(米園) 英語ⅢA 英語ⅢB
								泉 杏奈 <令和3年4月> 修士(学術) 中国語ⅠA 中国語ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	OLAJUNWON, FUAD, OLADIPUPO <令和3年4月> Master of .Arts in International Relations (米園) 英語 II A 英語 II B
						兼任	講師	石川 温彦 <令和3年4月> 博士(文学) 教育相談※
						兼任	講師	大澤 真生 <令和3年4月> 修士(文学) 倫理学 I
						兼任	講師	大久保 賢 <令和3年4月> 修士(経済学) 経済学 II
			兼任	講師	喜良 友也 <令和2年4月> 修士(体育科学) 健康・スポーツ実習 I 健康・スポーツ実習 II	兼任	講師	喜良 友也 <令和2年4月> 修士(体育科学) 健康・スポーツ実習 I 健康・スポーツ実習 II
						兼任	講師	中山 周作 <令和3年4月> 修士(英文学) 英語 I A 英語 I B

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
大貫秀明教授、平井純子教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、飯田悠佳子准教授、松林幸一郎兼任講師、蛭間栄介兼任講師、蛭間純子兼任講師、笹木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師、
- ・昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定
鶴海未祐子准教授
- ・学位取得
MATTHEWS JOEL DAVID専任講師、佐竹（杉谷） 由帆兼任准教授、
- ・昇進
TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任講師から兼任准教授、石田若菜兼任講師から兼任准教授、石川真知子兼任助教から兼任講師、林田光弘兼任助教から兼任講師
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の減）
伊藤雅道兼任教授、八木（木下）真奈美兼任教授、佐川和彦兼任教授、海老澤豊兼任教授、福田二郎兼任教授、馬場存兼任教授、油井（高井）恵兼任教授、前田悦子兼任教授、佐竹（杉谷）由帆兼任准教授、山下尚一兼任准教授、石川真知子兼任講師、申奎燮兼任講師、岡田啓美兼任講師、趙珠恩兼任講師、櫻井（小島）千絵兼任講師、安井健一郎兼任講師、
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の増）
原聰兼任教授、小侯謙二兼任教授、内田いつみ兼任講師、須永隆広助教、杉本美穂兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、ANTHONY. HUGH. LAWRENCE兼任講師、塚和男兼任講師、海津宜則兼任講師、小室俊明兼任講師、鄭寅玉兼任講師、佐藤由美兼任講師、小野雅子兼任講師、渡邊浩子兼任講師、尾崎文太兼任講師、北條陽子兼任講師、高橋旭兼任講師、KENNETH JOSEPH McCLAIN Ⅲ兼任講師、千田英司兼任講師、木川明彦兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、恵良友也兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加
本池巧兼教授、杉本英晴兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、塚本美恵子兼任教授、小澤伸光兼任教授、原聰兼任教授、町田欣弥兼任教授、千草孝雄兼任教授、木塚隆志兼任教授、孔炳龍兼任教授、金基弘兼任准教授、山崎義広兼任講師、島原知大兼任講師、須永隆広助教、笹寿美子兼任講師、中條克俊兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、王佩民兼任講師、岡部一宏兼任講師、吉野瑞恵兼任講師、田島哲也兼任講師、岡田大助兼任講師、矢久保典良兼任講師
- ・教育内容の均質化のための変更
小山知子兼任講師
- ・就任辞退（他大学就任）
浅野公貴兼任講師
- ・後任補充
田中健一兼任講師

【令和3年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
狐塚賢一郎教授、平井純子教授、小林将輝准教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、丸藤祐子准教授、飯田悠佳子准教授、松林幸一郎兼任講師、石山育朗兼任講師、蛭間栄介兼任講師、笹木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師
- ・年次計画に基づき担当授業科目を再開する教員
大貫秀明教授、平井純子教授
- ・授業未開講により今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
吉野貴順教授、大貫秀明教授、狐塚賢一郎教授、小林将輝准教授、石川（岩橋）真知子兼任講師から専任講師（令和3年9月より。令和3年5月教員審査済）、葉紅（梶山葉紅）兼任教授、朴昌明兼任教授、山下尚一兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、富樫泰一兼任講師（4）
- ・未開講科目を再開する教員
伊藤雅道兼任教授
- ・職位の変更
J. Matthews専任講師から兼任講師、佐竹（杉谷）由帆兼任准教授から兼任講師、杉本英晴兼任准教授から兼任講師（以上、担当科目減）、石川（岩橋）真知子兼任講師から専任講師（令和3年9月より。令和3年5月教員審査済）（4）、太田康友兼任助教から兼任講師
- ・学位取得
村山光子兼任講師、洪明真兼任講師、飯塚哲司兼任講師
- ・改姓名
石川（岩橋）真知子兼任講師
- ・担当教員の職位の変更に伴う変更（科目の増）
平野和弘准教授（令和3年2月教員審査済）、飯田悠佳子（令和3年2月教員審査済）、石川（岩橋）真知子兼任講師、藤掛友希兼任助教、水野雅之兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の減）
葉紅（梶山葉紅）兼任教授、本池巧兼教授、八田真行兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、孔炳龍兼任教授、金基弘兼任准教授、田中健一兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の増）
明石真和兼任教授、城井光広兼任教授、間島貞幸兼任教授、DE HAVEN. SHAWN兼任助教、蔦或婷兼任講師、原田芳幸兼任講師
- ・時間割編成に伴う変更
福田二郎兼任教授、増田（石井）珠子兼任教授、山下尚一兼任准教授、清海節子兼任教授、申奎燮兼任講師、孫国震兼任講師、岡田啓美兼任講師、趙珠恩兼任講師、櫻井（小島）千絵兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、安井健一郎兼任講師、津崎正行兼任講師、ANTHONY. HUGH. LAWRENCE兼任講師、浅谷真弓兼任講師、竹原真兼兼任講師、尾崎文太兼任講師、高橋旭兼任講師、PARK. CHRIS. HYUNKYU兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、泉杏奈兼任講師、OLAJUWON. FUAD. OLADIPUPU兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加
八木（木下）真奈美兼任教授、湯浅由一兼任教授、野田裕康兼任教授、松平光徳兼任准教授、清水知佳兼任准教授、DE HAVEN. SHAWN兼任助教、須永隆広兼任助教、青野正大兼任助教、根岸恒雄兼任講師、長谷川公江兼任講師、大石章兼任講師、小山郁也兼任講師、佐藤宏樹兼任講師、三田祥子兼任講師、高美正兼任講師、韓正芽兼任講師、新井克明兼任講師、RICHARD. MARCH兼任講師、千田英司兼任講師、中山周作兼任講師
- ・就任辞退及び退職
中川（山田）洋子兼任准教授、林田光弘兼任講師、中條克俊兼任講師、蛭間純子兼任講師、花屋哲郎兼任講師、千葉庄寿兼任講師、武正憲兼任講師、櫻澤裕樹兼任講師、佐藤美幸兼任講師、永作稔兼任講師、高井寛兼任講師、塚和男兼任講師、小室俊明兼任講師、佐藤由美兼任講師、渡邊浩子兼任講師、北條陽子兼任講師、矢久保典良兼任講師、木川明彦兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、泉杏奈兼任講師（4）
- ・定年退職
塚本美恵子兼任教授、小澤伸光兼任教授、千草孝雄兼任教授
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（科目の増）
菊田秀雄兼任教授、島原知大兼任講師、須永隆広兼任助教
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（後任補充）
羽羽貴司兼任准教授、井島大我兼任講師、吉田隆兼任講師、内田理兼任講師、藤川和俊兼任講師、末廣みどり兼任講師、藤野強兼任講師、山川亜古兼任講師、竹内（寺嶋）俊子兼任講師、永井綾子兼任講師、水野雅之兼任講師、石川遥至兼任講師、大澤真生兼任講師、大久保賢兼任講師、中山周作兼任講師、CHAMPAGNE. M. ODEN兼任講師、石井洋美兼任講師（4）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	9	4	0	24	0	11	8	4	0	23	0
(10)	(8)	(4)	0	(22)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	8	5	0	24	0	11	9	4	0	24	0
[0]	[Δ1]	[+1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{24} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{23} = \boxed{17.39} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	MATTHEWS JOEL DAVID	R3.3	選択	国際社会と日本	②	R3.3.31付け他大学就任のため辞任 (3)			
				必修	プレゼミナルⅢ	②				
				必修	プレゼミナルⅣ	②				
				選択	欧米の暮らしと文化	②				
				必修	英語ⅡA	②				
				必修	英語ⅡB	②				
				選択	英語演習Ⅰ	②				
選択	海外語学演習	②								
2										
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	0	科目	計	8	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	0	科目	計	8	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{24} = 4.16\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

MATTHEWS JOEL DAVID専任講師より令和2年11月に専任教員辞任の申し出を受け、後任者について学内公募を行い、兼任教員1名を採用し担当予定科目を開講した。また、令和3年度について同専任講師は兼任講師として、後任者の兼任教員が担当予定であった科目を担当している。これらの授業の担当者については講義時間割表及び履修ガイダンスで周知しており、学生の混乱はなかった。なお、兼任教員1名については、令和3年度第1回専任教員採用等年次計画変更書を提出しており、審査結果が可となった場合には秋学期から専任教員として任用予定である。(3)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見直しなど
<p>① 令和3年度授業実施形態 通学課程として設置計画を提出。</p> <p>② 入学者選抜の概要 入試選抜方法については、以下のとおり、「①推薦入試」、「②A0入試」及び「③一般入試」に大別される。ポリシーと選抜方法の関連については、推薦入試、A0入試ではスポーツ全般への興味・関心を重視し、一般入試では基礎的知識と基礎的学力を重視する。 なお、平成33（2021）年度入学試験以降の入学者選抜方法については、見直しが予告されている「大学入学者選抜実施要項」に則り、「大学入学共通テスト」の利用をはじめ、「学力の3要素」を多角的・総合的に評価するなど、適切に対応する予定である。</p> <p>③ 入試実施体制 入試制度委員会 本学の入学試験の基本方針並びに入学試験日程の立案及び調整に関する事項、その他入学試験制度改善に関する事項を審議・決定する。</p> <p>④ 学外実習を実施する場合の具体的計画 ア) 教育実習 本学部では中学校教諭一種免許状（保健体育）課程、高等学校教諭一種免許状（保健体育）課程を設置する。中学校においては、3年次5月から11月の学校体験活動2週間以上（80時間以上）、4年次5月から11月の「教育実習」3週間以上（120時間以上）を、高等学校においては、4年次5月から11月の「教育実習」2週間以上（80時間以上）を行う。</p> <p>イ) チームビルディング 専攻導入科目「チームビルディング」における学外で実施する「プロジェクト・アドベンチャー」について4月上旬に2班にて1泊2日で実施。</p> <p>ウ) 海外語学演習 本学のグローバルな視野に立てる人材育成を目的とすることから、大学全体の統一カリキュラムとして実施されている。これは、夏又は春の長期休暇中、海外の優れた教育機関が提供する2～4週間の語学プログラムに学生が参加し、語学を学ぶとともに異文化を体験するものである。</p>	<p>令和3（2021）年度授業実施方法に関する基本方針として、新型コロナウイルス感染症の社会情勢を注視しつつ、可能な限り対面型での授業実施を基本としつつ、受講者が一定数を超える授業や定員を減らした教室の状況により、一部の授業（科目・回数）はオンライン型やハイブリッド型で実施することとしている。</p> <p>令和3（2021）年度以降の入学者選抜については、見直しがなされた「令和3年度大学入学者選抜実施要項」に基づき、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の選抜方法により、「学力の3要素」を多角的・総合的に評価するなど、設置時の計画より一部変更した上で実施している。</p> <p>以下の委員会について名称及び審議事項の改正を行った。 入学試験制度・判定委員会 本学の入学試験の基本方針並びに入学試験日程の立案及び調整に関する事項、入学志願者の合否判定に関する事項、その他入学試験制度改善に関する事項を審議・決定する。</p> <p>令和3年4月13日付文部科学省総合教育政策局長通知「教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）」（3文科教第19号）に基づき、中学校等において受入れが困難な状況が生じた場合、「教育実習特例措置」を実施する。</p> <p>新型コロナウイルス感染リスク拡大の状況に鑑み、宿泊を伴う実習を中止し、日帰りでの実施に変更。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による現地での感染リスク及び国境を越えた移動制限の継続に鑑み、夏期休業期間の派遣は見送り、春期休業期間の派遣やオンライン授業も検討しつつ、7月上旬を目途に実施の可否を判断する。 新型コロナウイルス感染症の影響により、仏語及び英語3機関について未開講とし、秋学期に募集を行ったが、独語、中国語、韓国語は受講者が0名であり、英語1機関（フィリピン中央大学）についてオンライン形式で実施した。（4）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD委員会

教員の教育研究活動の質的向上を図るため、全学的組織として、FD委員会が設置されている。

教務担当副学長を委員長とし、各学部教授会から選出された専任教員として、各学部教務委員会委員長及び副委員長、共通教育センターの各センター長、教職課程主任、資格課程主任、並びに事務局の学務部長により構成される。委員会には、このほか、事務局として教務課長が出席している。

※FD委員会規程は次の通りである。

(目的)

第1条 駿河台大学学則第10条第1項及び第31条の3第3項に基づき、本学教員の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するため、駿河台大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副学長の中から学長が指名した者
- (2) 各学部教授会から選任された専任教員
- (3) 教職課程主任
- (4) 資格課程主任
- (5) 各共通教育センター及びグローバル教育センター並びにキャリアセンターから選出された専任教員
- (6) 学務部長

(任期)

第3条 前条第2号及び第5号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長)

第4条 委員会の長は、第2条第1号の委員をもって充てる。

(審議事項)

第5条 委員会は次の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) FD研修会に関する事項
- (3) その他FDに関する事項

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学務部教務課が担当する。

(その他)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この規程は、平成26年7月3日から施行する。

平成28年4月1日一部改正。

平成30年4月1日一部改正。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度にFD委員会を12回開催した。

令和2年04月16日（木）出席者数17名、令和2年05月14日（木）出席者数17名、

令和2年06月11日（木）出席者数17名、令和2年07月09日（木）出席者数17名、

令和2年09月17日（木）出席者数17名、令和2年10月01日（木）出席者数17名、

令和2年11月12日（木）出席者数17名、令和2年12月10日（木）出席者数16名、

令和3年01月14日（木）出席者数17名、令和3年02月04日（木）出席者数17名、

令和3年03月04日（木）出席者数15名、令和3年03月26日（金）出席者数17名

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、教育研究活動改善の方策、全学FD研修会の企画・実施に関する事項について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ア) 全学研修会（教育力）
- イ) 授業公開・見学
- ウ) 全学授業アンケート
- エ) 授業改善計画書
- オ) 新任教員のための研修
- カ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「学生相談」「ハラスメント防止」「研究」「大学評価」「防災」「地域連携」「情報セキュリティ」「SD STEP UP研修」

b 実施方法

- ア) 全学研修会（教育力）

原則として、全専任教員が出席する全学研修会を開催し、毎年度テーマを設定して共通理解の下に授業運営、授業改善等に生かしている。令和2年度は一堂に会する形式を避けe-learningで実施した。
- イ) 授業公開・見学

令和2年度は授業支援ツールMoodleにおける評価の高いオンライン授業5授業を閲覧。
- ウ) 全学授業アンケート

教育内容及び教育方法に対する学生の評価や授業に対する学生のニーズ等を把握するため、学生による授業評価を行っている。
- エ) 授業改善計画書

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。
- オ) 新任教員のための研修

本年度本学に着任した新任教員が「新任教員研修セミナー」（大学セミナーハウス主催）を受講している。
- カ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「学生相談」「ハラスメント防止」「研究」「大学評価」「防災」「地域連携」「情報セキュリティ」「SD STEP UP研修」

大学全体のSDとして、全教職員を対象として各研修会を実施している。
令和2年度は一堂に会する形式を避けe-learningで実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ア) 全学研修会（教育力）

令和2年4月18日（土）～5月22日（金） 専任教員参加率100.0％
令和2年10月8日（木）～11月20日（金） 専任教員参加率94.7％
- イ) 授業公開・見学 令和2年7月16日（木）～8月6日（木） 専任教員参加率87.8％
- ウ) 全学授業アンケート 春学期は7月に995授業、秋学期は12月に991授業を対象に実施。
- エ) 授業改善計画書 2・3月に実施。全体提出率71.8％、専任教員提出率は97.5％。

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。
- オ) 新任教員のための研修 8月31日（月）～9月2日（水） 新任教員6名中5名参加
- カ) 全学研修会
 - 「入試」令和2年5月7日（木）～6月11日（木） 専任教員参加率99.1％
 - 「学生支援」令和2年5月21日（木）～5月31日（日） 専任教員参加率88.7％
 - 「学生相談」令和2年7月9日（木）～8月31日（月） 専任教員参加率91.3％
 - 「ハラスメント防止」令和2年9月7日（月）～9月30日（水） 専任教員参加率77.2％
 - 「研究」令和2年9月24日（木）～10月23日（金） 専任教員参加率78.9％
 - 「大学評価」令和2年9月29日（火）～11月10日（火） 専任教員参加率85.1％
 - 「防災」令和2年10月15日（木）～11月9日（月） 専任教員参加率81.6％
 - 「地域連携」令和2年11月5日（木）～11月30日（月） 専任教員参加率85.1％
 - 「情報セキュリティ」令和2年12月10日（木） 専任教員参加率82.5％
 - 「SD STEP UP研修」令和3年2月16日（火）・17日（水） 専任教員参加率85.1％

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果、授業改善計画書については、教授会で報告されており、学部FD・SD会議の実施結果とともに各教員の授業改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期科目は春学期授業の11・12週目、通年科目と秋学期科目は秋学期授業の11・12週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・学生は、授業アンケートシステムを通じて担当・履修授業の結果を確認できる。

結果概要の報告書はホームページに掲載している。

【学部としての取組】

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部FD・SD会議の設置。

b 実施方法

原則月1回の割合で定期的に教育内容・教育方法や教職員に必要な知識及び技能を習得させ能力・資質を向上させるための取組を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度に学部FD・SD会議を6回開催した。なお、学年進行中であるため改組前の現代文化学部における取組も含んでいる。

令和2年04月30日（木）出席者数24名、令和2年07月30日（木）出席者数26名、

令和2年10月22日（木）出席者数26名、令和2年12月03日（木）出席者数26名、

令和3年01月23日（木）出席者数25名、令和3年03月11日（木）出席者数25名

学部教員定数22名・現代文化学部所属教員4名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

会議報告等を通じた成果は学部教員の授業実践に反映されている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期科目は春学期授業の11・12週目、通年科目と秋学期科目は秋学期授業の11・12週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・学生は、授業アンケートシステムを通じて担当・履修授業の結果を確認できる。

結果概要の報告書はホームページに掲載している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

駿河台大学スポーツ科学部は、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき教育研究をすることにより、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献することを目的としている。

また、スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成することとしている。

このような趣旨等については、オープンキャンパスを始めとした学生募集時に加え、入学後に行われる「学部ガイダンス」や「プレゼминаールⅠ・Ⅱ」などの演習や講義、さらには大学ホームページなどを通じて、学生への浸透をはかっている。

また、この教育目的に従ったカリキュラムを設定し教育を行っている。今後も申請内容に従って計画を実施し、学部創設の特色を生かした人材の育成に努めていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年4月 公表

b 公表方法

大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価を受審すべく、受審対象評価資料提出。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。